

2023年7月12日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

教員の意識に関する調査 2023

～子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科

1位「算数・数学」2位「社会」3位「国語」4位「家庭科」5位「理科」～

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：添田 毅司）は、20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）2,000名（男性1,000名 女性1,000名）を対象に、「教員の意識に関する調査2023」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）


◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科

1位「算数・数学」2位「社会」3位「国語」4位「家庭科」5位「理科」

子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科を聞くと、1位は「算数・数学」。いざ大人になってみると、算数・数学で学んだことが実生活で役立つことを実感するようになった人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「社会」、3位「国語」、4位「家庭科」、5位「理科」となりました。

役立つシーン・役立つことがわかった場面と学習内容を見ると、算数・数学では「品物を買うとき、どちらが得か調べる（単位量あたりの大きさ）」や「買い物するとき、割引などの計算に役立つ（百分率）」、「料理や手芸で非常に役立つ（割合）」、社会では「現在の世界情勢を知るのに役に立つ（世界史）」や「政治についてニュースを見て理解できる（公民）」、「社会情勢や、選挙の仕組みなどが理解しやすい（現代社会）」、国語では「大人になり書けないと恥ずかしいと気づいた（漢字）」や「あらゆる場面で文章力は必要（作文）」、「文章を書くときなど、正しい日本語が使える（文法）」といった回答がありました。

Q. 子どもの頃はわからなかったが
大人になって実は役立つということがわかった教科は？

	1位	算数・数学	366名
	2位	社会	335名
	3位	国語	182名
	4位	家庭科	173名
	5位	理科	152名

◆児童・生徒に最も薦めたいマンガ

1位「SLAM DUNK」2位「ONE PIECE」3位「ドラえもん」「はだしのゲン」5位「鬼滅の刃」

児童・生徒に最も薦めたいマンガのタイトルを聞くと、1位「SLAM DUNK」、2位「ONE PIECE」、3位「ドラえもん」「はだしのゲン」、5位「鬼滅の刃」という結果に。

薦めたいと思う理由をみると、「SLAM DUNK」では「諦めず努力することの大切さを伝えたい」、「ONE PIECE」では「心の支えになるような名言がたくさん出てくる」、「ドラえもん」では「失敗や友情など様々なことを学べる」、「はだしのゲン」では「平和の大切さを知ってほしい」といった回答が寄せられました。

Q. 児童・生徒に最も薦めたいマンガのタイトルは？

	1位	SLAM DUNK	189名
	2位	ONE PIECE	109名
		ドラえもん	54名
	3位	はだしのゲン	54名
	5位	鬼滅の刃	47名

◆教員として同僚になってもらいたいと思う芸能人

「大泉洋さん」が2年連続1位

教員として同僚になってもらいたいと思う芸能人を聞くと、1位「大泉洋さん」、2位「天海祐希さん」、3位「武田鉄矢さん」、4位「福山雅治さん」、5位「松本人志さん」という結果に。

前回の調査結果と比較すると、「大泉洋さん」が2年連続で1位となりました。実際に教員免許を取得していることでも知られる大泉洋さんが同僚だったら職場が明るくなるとイメージする人が多いのではないのでしょうか。

Q. 教員として同僚になってもらいたいと思う芸能人は？

2022年			2023年				
	1位	大泉洋	60名		1位	大泉洋	66名
	2位	天海祐希	53名		2位	天海祐希	61名
	3位	武田鉄矢	46名		3位	武田鉄矢	39名
	4位	綾瀬はるか	39名		4位	福山雅治	23名
	5位	明石家さんま	31名		5位	松本人志	21名

調査結果 index

◆教職について

……p.6~8

・教員になりたいと思った理由

TOP4は「教えることが好き」「子どもが好き」「尊敬する教員・憧れる教員に出会った」「収入が安定している」

・教員としてのやりがいを感じる時

TOP3は「児童・生徒の成長が感じられたとき」「児童・生徒の笑顔をみたとき」「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」

・理想の教員像

1位「授業がわかりやすい」2位「児童・生徒のやる気を引き出している」3位「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」
「授業がわかりやすい」は2年連続1位

◆学校生活について

……p.9~14

・校内で好きな場所 1位「教室」2位「職員室」3位「校庭・グラウンド」

男性2位は「校庭・グラウンド」、女性2位は「職員室」

・児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ

1位「ありがとう」2位「先生が担任・担当でよかった」3位「授業がわかりやすかった」

男性3位は「授業がわかりやすかった」、女性3位は「好き・大好き」

・最も楽しみにしている学校行事 TOP2は「運動会・体育祭」「卒業式」

・準備や運営に最も苦労している学校行事 TOP2は「運動会・体育祭」「文化祭・学園祭」

・教員の仕事で苦労していること TOP2は「授業の準備」「保護者とのコミュニケーション」

20代では「授業の準備」「授業」「児童・生徒の学習指導」が高い傾向、

中学校の教員では「部活動・クラブ活動の指導」が1位、

管理職の53%が「保護者とのコミュニケーション」に苦労していると回答

・仕事の悩みを相談する相手 TOP2は「同世代の教員」「先輩の教員」

教員の15%が「仕事の悩みを相談する相手がいない」と回答

◆学校・教育とLGBTQについて

……p.15~16

・勤め先におけるLGBTQ研修やLGBTQ教育の状況

「教員に対するLGBTQ研修の機会が充実している」25%、

「児童・生徒に対するLGBTQ教育の機会が充実している」21%

・勤め先におけるLGBTQへの配慮の状況

「LGBTQに配慮した制度やルールが策定されている」28%、「LGBTQに配慮した設備が整っている」17%、

「LGBTQに配慮した制服・体操服を選択できる」50%、「LGBTQに配慮した水泳着を選択できる」35%

・LGBTQに対する知識や理解の状況 「LGBTQに対する適切な対応ができる」54%、

「児童・生徒に対するLGBTQ教育を担当できる」37%、「他の教員に対するLGBTQ研修を担当できる」24%

◆子どもに薦めたい本について

……p.17~18

・児童・生徒に最も薦めたい本

1位「ハリー・ポッターシリーズ」2位「君たちはどう生きるか」3位「モモ」「星の王子さま」5位「かがみの孤城」

40代では「星の王子さま」、50代では「竜馬がゆく」が1位

・児童・生徒に最も薦めたいマンガ

1位「SLAM DUNK」2位「ONE PIECE」3位「ドラえもん」「はだしのゲン」5位「鬼滅の刃」
20代では「ONE PIECE」、60代では「はだしのゲン」が1位

◆教育現場への対話型AIの導入について

……p.19～20

・対話型AIを教育現場に導入することで生まれるメリット

「対人関係が苦手な生徒の抵抗感を減らすことができる」「生徒の興味関心を伸ばすことができる」
「子どもがわからないことを自分で調べられる」「いつでも相談できる」「時間短縮になる」「業務の効率化が図れる」
「問題解決のヒントを得ることができる」「保護者向け書類などの文書作成に役立ちそう」など

・対話型AIを教育現場に導入することで生まれるデメリット

「自分で考えなくなる」「考える力が育たない」「頼りきりになる」「思考力や創造性、主体性が養われない」
「不正行為を助長する可能性がある」「情報を鵜呑みにしてしまいがちになる」「コミュニケーション能力の低下」
「人間関係が希薄になる」「新たな研修が必要となり、ますます多忙化する」「丸写しを見抜く苦勞が増える」など

◆“教員あるある”について

……p.21

・“教員あるある”ランキング TOP2は「夏休みがあつていいねと言われる」「児童・生徒の珍回答に笑ってしまう」、
「字を見ただけでどの児童・生徒かわかる」「大切なプリントを配り忘れて焦る」「スーツでもスニーカーを履く」
「授業を忘れていて児童・生徒が職員室に呼びに来る」「学園ドラマにツッコミを入れる」も上位にランクイン

◆教科に対する意識・実感について

……p.22～29

・子どもの頃に好きだった教科・学習内容 好きだった理由と学習内容は？

国語「漢字を覚えるのが好きだった（漢字）」、算数・数学「解き方を考えるのが楽しかった（図形）」、
理科「現象の原理、原則がわかり面白い（化学）」、社会「ニュースがわかるようになる（公民）」、
英語「いろいろな人とコミュニケーションがとれる（英会話）」、体育「ボールを蹴るのが楽しかった（サッカー）」、
図工・美術「様々な画材で描くことが好き（絵画）」、音楽「みんなと一緒に歌うのが楽しかった（合唱）」、
家庭科「おいしいものが食べられる（調理）」など

・子どもの頃に嫌いだった教科・学習内容 嫌いだった理由と学習内容は？

国語「作者や登場人物の気持ちを理解できない（物語文）」、算数・数学「意味がわからなかった（微分・積分）」、
理科「化学式が嫌いだった（化学）」、社会「外国の名前や地名など覚えられなかった（世界史）」、
英語「何を言っているかわからない（リスニング）」、体育「水が怖く泳げなかった（水泳）」、
図工・美術「絵を描くのが苦手だった（絵画）」、音楽「声を出すのが恥ずかしかった（歌唱）」など

・子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科

役立つシーン・役立つことがわかった場面は？ 国語「大人になり書けないと恥ずかしいと気づいた（漢字）」、
算数・数学「買い物とき、割引などの計算に役立つ（百分率）」、理科「洗濯や掃除のときに役立つ（化学）」、
社会「現在の世界情勢を知るのに役に立つ（世界史）」、英語「実務で必要（リスニング）」、
体育「体力づくりや健康の維持のために必要（水泳）」、道徳「生活すべてで人として正しく行動できる（道徳）」、
家庭科「一人暮らしで役立つ（洗濯）」など

・これからもっと勉強したいと思う教科 もっと勉強したいと思う理由と学習内容は？

国語「相手に伝わる文章の書き方をマスターしたい（作文）」、算数・数学「現代の社会で必要（統計）」、
理科「社会的に関心が高まっている（自然環境）」、社会「世界情勢の理解に繋がる（世界史）」、
英語・外国語「国際社会に対応するため（リーディング）」、

体育「体育好きの子どもたちを育てられる（ボール運動）」、情報「これからどんどん必要になる（プログラミング）」、音楽「自己表現にもつながると思う（歌）」、家庭科「お金の流れについてもっと詳しく知りたい（家庭基礎）」など

◆**職業観について**

……p.30～32

・**子どもの頃に就きたかった職業** 「教員」が1位

男性2位は「プロスポーツ選手」、女性2位は「保育士・幼稚園教諭」

・**今、転職するなら就きたい職業** 男性1位は「大学教授・研究者」、女性1位は「公務員」

・**生まれ変わったら就きたい職業** 「教員」が2年連続1位

◆**結婚観について**

……p.33～34

・**どのような職業の人と結婚した？** 男性1位は「教員」、女性1位は「会社員」

・**どのような職業の人と結婚したい？** 未婚男性1位は「教員」、未婚女性1位は「公務員」

◆**理想の同僚・校長先生・教師のイメージに合う芸能人・先生キャラ**

……p.35～37

・**教員として同僚になってもらいたいと思う芸能人** 「大泉洋さん」が2年連続1位

男性回答TOP5は「大泉洋さん」「武田鉄矢さん」「松本人志さん」「水谷豊さん」「所ジョージさん」、

女性回答TOP5は「天海祐希さん」「大泉洋さん」「カズレーザーさん」「鈴木亮平さん」「ムロツヨシさん」

・**理想の校長先生のイメージに合う芸能人** 1位「武田鉄矢さん」2位「天海祐希さん」3位「所ジョージさん」

・**理想の教師像に合う映画・ドラマの先生キャラ** 「坂本金八」が2年連続1位、

2位「山口久美子」3位「鬼塚英吉」4位「桜木建二」5位「北野広大」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆教職について

・教員になりたいと思った理由

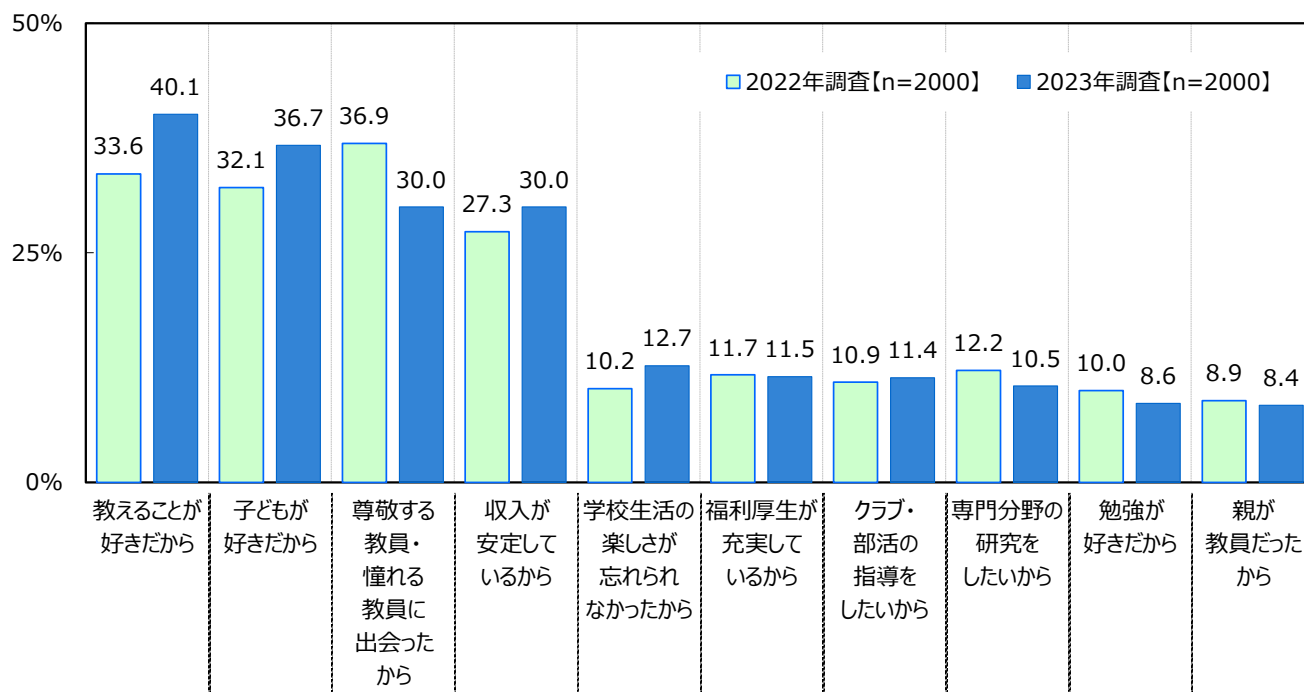
TOP4 は「教えることが好き」「子どもが好き」「尊敬する教員・憧れる教員に出会った」「収入が安定している」

全国の20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）2,000名（全回答者）に対し、教職について質問しました。

まず、全回答者（2,000名）に、教員になりたいと思った理由を聞いたところ、「教えることが好きだから」（40.1%）が最も高くなりました。子どもたちに授業を通じてわかりやすく教えることや、子どもたちが知識や自ら考える力を身につけ成長していく姿に接することに、喜びを感じる人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「子どもが好きだから」（36.7%）、「尊敬する教員・憧れる教員に出会ったから」「収入が安定しているから」（いずれも30.0%）、「学校生活の楽しさが忘れられなかったから」（12.7%）、「福利厚生が充実しているから」（11.5%）でした。

そのほか、「子どもの成長を応援したいから」や「子どもが社会に出ていくための自立の手助けをしたいと思ったから」、「子どもに楽しい学校生活を送ってもらいたいと考えたから」など、子どもの成長や自立、学校生活の充実をサポートしたいと考え教員を志した人もいることがわかりました。

◆教員になりたいと思った理由（複数回答形式） ※上位10位までを表示



※2022年調査：『教員の意識に関する調査2022』（2022年8月8日発表）

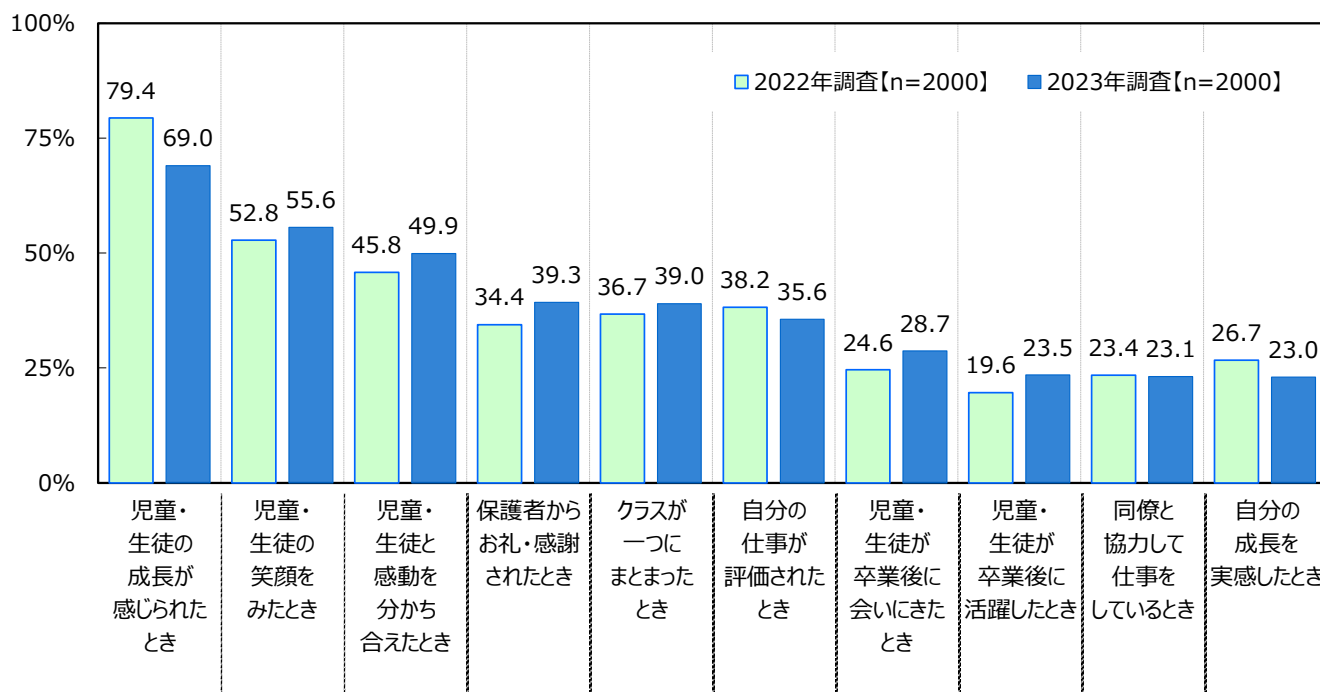
https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20220808.pdf

・教員としてのやりがいを感じる時

TOP3は「児童・生徒の成長を感じられたとき」「児童・生徒の笑顔を見たとき」「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」

次に、教員としてどのようなときにやりがいを感じるか聞いたところ、「児童・生徒の成長を感じられたとき」（69.0％）が最も高くなり、「児童・生徒の笑顔を見たとき」（55.6％）、「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」（49.9％）が続きました。児童・生徒が学習や体験をきっかけとし豊かな人間性や必要な社会性を育み成長していく様子を見られたときや、児童・生徒と楽しい時間やうれしい時間、乗り越えた達成感や努力が報われた喜びなどを共有できたときに、教員としてのやりがいを感じ教員になってよかったという実感を抱く人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「保護者からお礼・感謝されたとき」（39.3％）、「クラスが一つにまとまったとき」（39.0％）、「自分の仕事が評価されたとき」（35.6％）、「児童・生徒が卒業後に会いに来たとき」（28.7％）、「児童・生徒が卒業後に活躍したとき」（23.5％）でした。

◆教員としてどのようなときにやりがいを感じるか（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・理想の教員像

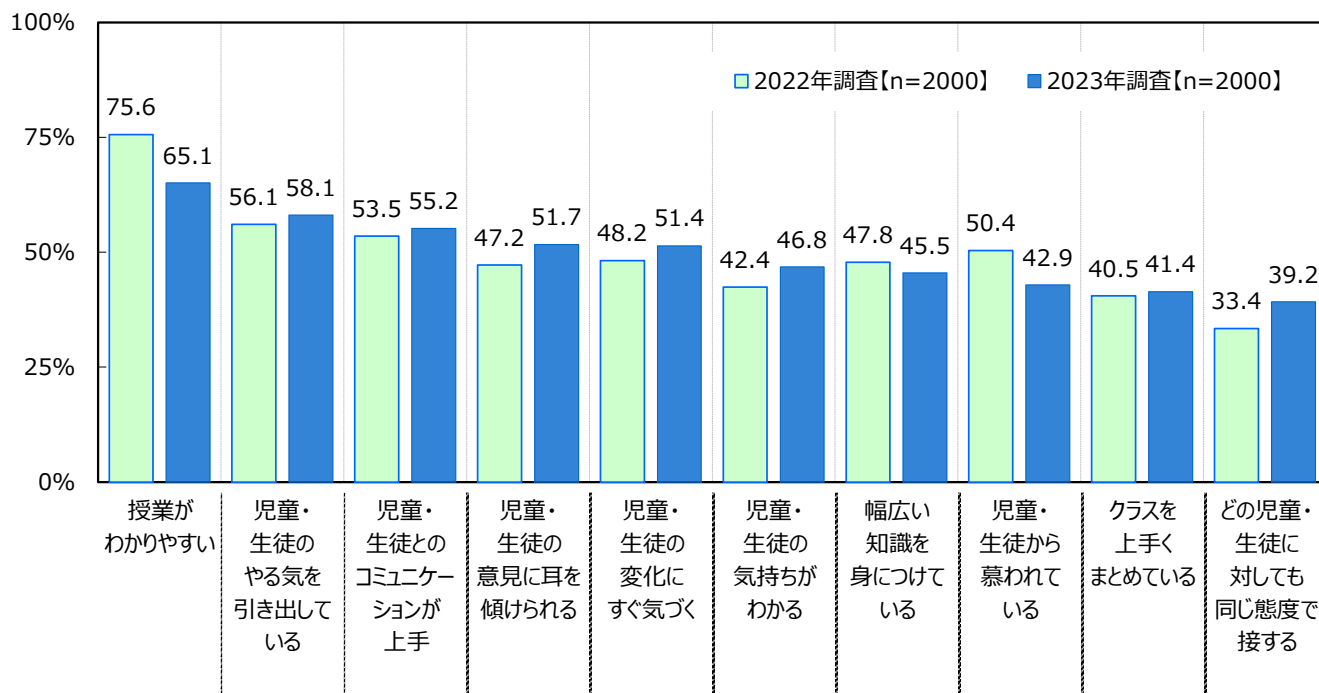
1位「授業がわかりやすい」2位「児童・生徒のやる気を引き出している」3位「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」
「授業がわかりやすい」は2年連続1位

理想の教員のイメージについて質問しました。

全回答者（2,000名）に、理想の教員像を聞いたところ、「授業がわかりやすい」（65.1%）が最も高くなり、「児童・生徒のやる気を引き出している」（58.1%）、「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」（55.2%）が続きました。児童・生徒の視点で児童・生徒にとってわかりやすい授業を行うことができる教員や、児童・生徒のモチベーションを上げることが上手い教員、児童・生徒と良好な関係を築くことが上手い教員を理想だと考えている人が多いようです。次いで高くなったのは、「児童・生徒の意見に耳を傾けられる」（51.7%）、「児童・生徒の変化にすぐ気づく」（51.4%）、「児童・生徒の気持ちがわかる」（46.8%）、「幅広い知識を身につけている」（45.5%）、「児童・生徒から慕われている」（42.9%）でした。

前回の調査結果と比較すると、「授業がわかりやすい」は2年連続1位（2022年75.6%、2023年65.1%）でした。また、「児童・生徒のやる気を引き出している」（2022年56.1%、2023年58.1%）や「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」（2022年53.5%、2023年55.2%）、「児童・生徒の意見に耳を傾けられる」（2022年47.2%、2023年51.7%）、「児童・生徒の変化にすぐ気づく」（2022年48.2%、2023年51.4%）、「児童・生徒の気持ちがわかる」（2022年42.4%、2023年46.8%）などは上昇傾向がみられました。児童・生徒とコミュニケーションをとることが上手い教員や児童・生徒に対して精神面での支援が適切にできる教員を目標や理想に据える人が増えているのではないのでしょうか。

◆理想の教員像（複数回答形式） ※上位10位までを表示



◆学校生活について

◆校内で好きな場所 1位「教室」2位「職員室」3位「校庭・グラウンド」

男性 2位は「校庭・グラウンド」、女性 2位は「職員室」

全回答者（2,000名）に、校内で好きな場所を聞いたところ、「教室」（701名）がダントツとなり、2位「職員室」（152名）、3位「校庭・グラウンド」（123名）、4位「図書室・図書館」（107名）、5位「体育館」（79名）と続きました。

前回の調査結果と比較すると、「教室」は2年連続1位でした。

◆校内で好きな場所（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	2022年調査：全体[n=2000]	名		2023年調査：全体[n=2000]	名
1位	教室	682	1位	教室	701
2位	職員室	165	2位	職員室	152
3位	図書室・図書館	128	3位	校庭・グラウンド	123
4位	校庭・グラウンド	118	4位	図書室・図書館	107
5位	体育館	72	5位	体育館	79
6位	音楽室	61	6位	教科準備室・研究室	55
7位	教科準備室・研究室	51	7位	音楽室	44
8位	理科室	46	8位	トイレ	39
9位	保健室	36	9位	保健室	39
10位	トイレ	31	10位	理科室	35

男女別にみると、男女とも1位は「教室」（男性315名、女性386名）となり、男性では「校庭・グラウンド」（81名）が2位、「職員室」（77名）が3位、女性では「職員室」（75名）が2位、「図書室・図書館」（74名）が3位でした。

男女別のTOP3の理由をみると、男性の場合、「教室」では「子どもたちの顔をみられる」や「多くの時間を生徒と過ごせる」、「一番長く過ごしている場所である」、「校庭・グラウンド」では「子どもの笑顔が溢れている」や「元気な姿がたくさんみられる」、「職員室」では「落ち着いて仕事ができる」や「先生方と情報共有ができる」といった回答が挙がりました。また、女性の場合、「教室」では「子どもたちと触れ合える」や「子どもたちと過ごす空間である」、「子どもたちとの思い出の場所である」、「職員室」では「同僚とコミュニケーションをとれる」や「先生方との情報交換の場所である」、「図書室・図書館」では「静かで落ち着く」や「知識を深められ、リラックスもできる」といった回答が挙がりました。

そのほか、「空気が澄んでいて景色が綺麗（渡り廊下）」や「窓からいっぱい緑がみえてとても居心地がよい（図書室）」、「美しい緑の中に見える校舎にうっとりする（校門から校舎への坂道から見える場所）」、「広々としていて、季節の木々や花、憩いのベンチ、遊具、小道がある（エントランスの広場）」といった回答もありました。景色のよい場所、緑豊かな場所、絵になるような景観を楽しめる場所などをお気に入りの校内スポットとし、日頃の疲れを癒しているのではないのでしょうか。

◆校内で好きな場所（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	男性[n=1000]	名	理由（抜粋）		女性[n=1000]	名	理由（抜粋）
1位	教室	315	子どもたちの顔をみられる/ 多くの時間を生徒と過ごせる/ 一番長く過ごしている場所である	1位	教室	386	子どもたちと触れ合える/ 子どもたちと過ごす空間である/ 子どもたちとの思い出の場所である
2位	校庭・グラウンド	81	子どもの笑顔が溢れている/ 元気な姿がたくさんみられる	2位	職員室	75	同僚とコミュニケーションをとれる/ 先生方との情報交換の場所である
3位	職員室	77	落ち着いて仕事ができる/ 先生方と情報共有ができる	3位	図書室・図書館	74	静かで落ち着く/ 知識を深められ、リラックスもできる
4位	体育館	48	子どもの楽しそうな声が聞こえる	4位	校庭・グラウンド	42	子どもたちの笑顔がみられる
5位	教科準備室・研究室	38	ゆっくり考えごとができる	5位	保健室	38	1人で落ち着いて過ごせる
6位	図書室・図書館	33	静かでゆっくりできる	6位	音楽室	32	音楽が好きだし落ち着く
7位	理科室	27	教材研究に没頭できる	7位	体育館	31	広々としていて涼しい
8位	トイレ	25	ほっと一息つける	8位	中庭	23	自然豊かで落ち着く
9位	音楽室	12	部活の指導をしているときが幸せ	9位	教科準備室・研究室	17	教科準備に集中できる
10位	中庭	9	日当たりがよく、気持ちが良い	10位	廊下	15	子どもののびのびした姿がみられる

・児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ

1 位「ありがとう」2 位「先生が担任・担当でよかった」3 位「授業がわかりやすかった」

男性 3 位は「授業がわかりやすかった」、女性 3 位は「好き・大好き」

児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバを聞いたところ、「ありがとう」（503 名）がダントツとなり、2 位「先生が担任・担当でよかった」（137 名）、3 位「授業がわかりやすかった」（109 名）、4 位「好き・大好き」（96 名）、5 位「授業が楽しかった」（75 名）と続きました。心を込めて感謝の思いを直接伝えてもらい、教師冥利に尽きると感じた人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、男女とも 1 位は「ありがとう」（男性 309 名、女性 194 名）、2 位は「先生が担任・担当でよかった」（男性 54 名、女性 83 名）となり、男性では「授業がわかりやすかった」（51 名）が 3 位、女性では「好き・大好き」（81 名）が 3 位でした。

最もうれしかったコトバをもらったときの状況・エピソードをみると、男女ともに 1 位の「ありがとう」では「卒業式の最後のホームルームで花束をもらったときに」や「進路が決まったときに」、「卒業式後に、生徒からサプライズで」、「大学合格を知らせにきてくれたときに」、2 位の「先生が担任・担当でよかった」では「卒業後に会いにきてくれたときに」や「卒業式で」、「卒業式の日のホームルームで」、「卒業式の日にももらった色紙に」といった回答がありました。

◆児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体[n=2000]	名
1位	ありがとう	503
2位	先生が担任・担当でよかった	137
3位	授業がわかりやすかった	109
4位	好き・大好き	96
5位	授業が楽しかった	75
6位	勉強がわかった	70
7位	先生にまた担任になってほしい	51
8位	先生のおかげです	28
	先生みたいになりたい	28
10位	学校が楽しい・楽しかった	27

	男性[n=1000]	名	状況・エピソード（抜粋）
1位	ありがとう	309	卒業式の最後のホームルームで花束をもらったときに/進路が決まったときに
2位	先生が担任・担当でよかった	54	卒業後に会いにきてくれたときに/卒業式で
3位	授業がわかりやすかった	51	1年間授業をしたあとに/授業アンケートで
4位	勉強がわかった	38	教え方を工夫して指導したときに
5位	授業が楽しかった	31	最後の授業で感謝の言葉をもらったときに
6位	好き・大好き	15	卒業式のあとの教室で
	先生のおかげです	15	卒業後に訪ねてきた生徒から
	お世話になりました	12	卒業式の日、教室で
8位	学校が楽しい・楽しかった	12	不登校気味だった生徒から卒業式で
	授業が面白かった	12	学年末にももらった手紙で
	女性[n=1000]	名	状況・エピソード（抜粋）
1位	ありがとう	194	卒業式後に、生徒からサプライズで/大学合格を知らせにきてくれたときに
2位	先生が担任・担当でよかった	83	卒業式の日のホームルームで/卒業式の日にももらった色紙に
3位	好き・大好き	81	卒業式前に、卒業する生徒から/謝恩会でクラスの子もたちから
4位	授業がわかりやすかった	58	生徒からもらった寄せ書きに
5位	授業が楽しかった	44	卒業文集のコメント欄に
6位	先生にまた担任になってほしい	40	担任を離れて次の年に、担任だった教え子から
7位	勉強がわかった	32	放課後、個別に勉強を教えていたときに
8位	先生に出会えてよかった	18	卒業する生徒から最後の授業のときに
9位	先生みたいになりたい	17	卒業後、大学合格の報告に来てくれたときに
10位	勉強が好きになった	16	勉強が苦手だった生徒から、終業式の日

・最も楽しみにしている学校行事 TOP2 は「運動会・体育祭」「卒業式」

学校行事について質問しました。

まず、最も楽しみにしている学校行事を聞いたところ、1位「運動会・体育祭」（15.8%）、2位「卒業式」（15.7%）、3位「修学旅行」（14.6%）、4位「文化祭・学園祭」（7.9%）、5位「遠足」（5.9%）となりました。

前回の調査結果と比較すると、「運動会・体育祭」は前回3位から順位を上げ今回は1位でした。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せ、これまで控えていた学校行事を再開するところが増えてきたことを受け、クラスで一致団結して取り組む姿をみられる運動会・体育祭が楽しみだという人が増えたのではないのでしょうか。

◆最も楽しみにしている学校行事（単一回答形式・理由は自由回答形式） ※上位10位までを表示

2022年調査：全体[n=2000]			2023年調査：全体[n=2000]		
順位	学校行事	%	順位	学校行事	%
1位	卒業式	17.7	1位	運動会・体育祭	15.8
2位	修学旅行	14.0	2位	卒業式	15.7
3位	運動会・体育祭	13.8	3位	修学旅行	14.6
4位	文化祭・学園祭	6.7	4位	文化祭・学園祭	7.9
5位	遠足	5.9	5位	遠足	5.9
6位	合唱コンクール	3.6	6位	合唱コンクール	5.1
7位	社会科見学	3.3	7位	社会科見学	2.8
8位	入学式	1.3	8位	入学式	0.5
9位	水泳大会	0.3	9位	水泳大会	0.1
	その他	1.2		その他	0.8

勤務先の学校種別でみると、小学校の教員では「運動会・体育祭」（24.1%）、中学校の教員では「卒業式」（19.6%）、高等学校の教員では「修学旅行」と「卒業式」（いずれも15.9%）、特別支援学校の教員では「修学旅行」（16.5%）が1位でした。

学校種別1位の理由をみると、小学校の教員では、「運動会・体育祭」は「みんなで感動を分かち合えるから」、中学校の教員では、「卒業式」は「今までの成長を感じられるから」、高等学校の教員では、「修学旅行」は「楽しいことを生徒と共有できるから」、「卒業式」は「生徒の成長を一番実感できるから」、特別支援学校の教員では、「修学旅行」は「思い出がたくさんできるから」といった回答が挙がりました。

◆最も楽しみにしている学校行事（単一回答形式・理由は自由回答形式） ※上位5位までを表示

小学校[n=729]			中学校[n=535]				
順位	学校行事	%	理由（抜粋）	順位	学校行事	%	理由（抜粋）
1位	運動会・体育祭	24.1	みんなで感動を分かち合えるから	1位	卒業式	19.6	今までの成長を感じられるから
2位	卒業式	13.3	6年間の集大成がみられるから	2位	修学旅行	17.9	様々なことを学べる場だから
3位	修学旅行	10.6	子どもの笑顔が一番みられるから	3位	運動会・体育祭	13.5	一生懸命な姿がみられるから
4位	遠足	9.1	みんなで楽しめるから	4位	合唱コンクール	12.7	生徒が一致団結するから
5位	社会科見学	5.2	子どもと一緒に楽しく学べるから	5位	文化祭・学園祭	7.1	生き生きとした姿がみられるから

高等学校[n=542]			特別支援学校[n=194]				
順位	学校行事	%	理由（抜粋）	順位	学校行事	%	理由（抜粋）
1位	修学旅行	15.9	楽しいことを生徒と共有できるから	1位	修学旅行	16.5	思い出がたくさんできるから
	卒業式	15.9	生徒の成長を一番実感できるから	2位	卒業式	13.4	一番成長を感じられるから
3位	文化祭・学園祭	13.3	生徒が生き生きとしているから	3位	文化祭・学園祭	11.3	子どもの輝く姿がみられるから
4位	運動会・体育祭	9.2	クラスの協調性が高まるから	4位	運動会・体育祭	9.3	子どもの成長を実感できるから
5位	遠足	4.6	生徒の楽しそうな顔がみられるから		遠足	9.3	子どもの笑顔がみられるから

・準備や運営に最も苦勞している学校行事 TOP2 は「運動会・体育祭」「文化祭・学園祭」

また、準備や運営に最も苦勞している学校行事を聞いたところ、1位は“最も楽しみにしている行事”と同じく「運動会・体育祭」（21.2％）でした。運動会・体育祭の演目の企画や本番に向けての練習など多岐にわたる事前準備や、当日の運営管理で苦勞した経験がある人は多いようです。準備や運営などの苦勞が多い分、上手くいったときに分かち合う喜びもひとしおではないでしょうか。次いで、2位「文化祭・学園祭」（15.5％）、3位「修学旅行」（14.6％）、4位「卒業式」（4.8％）、5位「合唱コンクール」（3.9％）となりました。

勤務先の学校種別でみると、小学校の教員では「運動会・体育祭」（36.4％）、中学校の教員では「修学旅行」（20.2％）、高等学校・特別支援学校の教員では「文化祭・学園祭」（順に24.2％、32.0％）が1位でした。

学校種別1位の理由をみると、小学校の教員では、「運動会・体育祭」は「暑い時期の指導が大変だから」、中学校の教員では、「修学旅行」は「とにかく外部とのやりとりが多いから」、高等学校・特別支援学校の教員では、「文化祭・学園祭」は「並行して行う仕事が多いから」（高等学校）、「外部との調整が煩雑だから」（特別支援学校）といった回答が挙がりました。

◆準備や運営に最も苦勞している学校行事（単一回答形式・理由は自由回答形式）

※全体の結果は上位10位、学校種別での結果は上位5位までを表示

	全体[n=2000]	%
1位	運動会・体育祭	21.2
2位	文化祭・学園祭	15.5
3位	修学旅行	14.6
4位	卒業式	4.8
5位	合唱コンクール	3.9
6位	社会科見学	1.8
7位	水泳大会	1.3
8位	入学式	1.2
9位	遠足	0.8
	その他	1.8

小学校[n=729]			中学校[n=535]		
	%	理由（抜粋）		%	理由（抜粋）
1位	36.4	暑い時期の指導が大変だから	1位	20.2	とにかく外部とのやりとりが多いから
2位	9.9	事前準備が大変だから	2位	17.8	生徒の指導が多岐にわたるから
3位	6.2	失敗が許されない厳かな式だから	3位	13.5	段取りがたくさんあるから
4位	6.0	準備が多すぎて大変だから	4位	9.7	合唱などの指導の期間が長いから
5位	2.9	安全の確保に気を遣うから	5位	5.4	準備に手間がかかるし気を遣うから

高等学校[n=542]			特別支援学校[n=194]		
	%	理由（抜粋）		%	理由（抜粋）
1位	24.2	並行して行う仕事が多いから	1位	32.0	外部との調整が煩雑だから
2位	13.3	事前指導も含め手間がかかるから	2位	20.1	いろいろな配慮が必要だから
3位	7.7	短期間でやることが多いから	3位	11.3	準備の仕事量が多いから
4位	3.1	準備に時間がかかるから	4位	4.6	日程調整や打ち合わせが多いから
5位	1.5	クラスをまとめるのが大変だから	5位	2.6	いろいろな決まりごとがあるから

・教員の仕事で苦勞していること TOP2 は「授業の準備」「保護者とのコミュニケーション」

20代では「授業の準備」「授業」「児童・生徒の学習指導」が高い傾向、

中学校の教員では「部活動・クラブ活動の指導」が1位、

管理職の53%が「保護者とのコミュニケーション」に苦勞していると回答

全回答者（2,000名）に、教員の仕事で苦勞していることを聞いたところ、「授業の準備」（40.6%）が最も高くなり、「保護者とのコミュニケーション」（37.9%）、「学校行事の準備・運営」（36.1%）、「児童・生徒の生活指導」（32.0%）、「テストの作成・採点」（24.3%）が続きました。

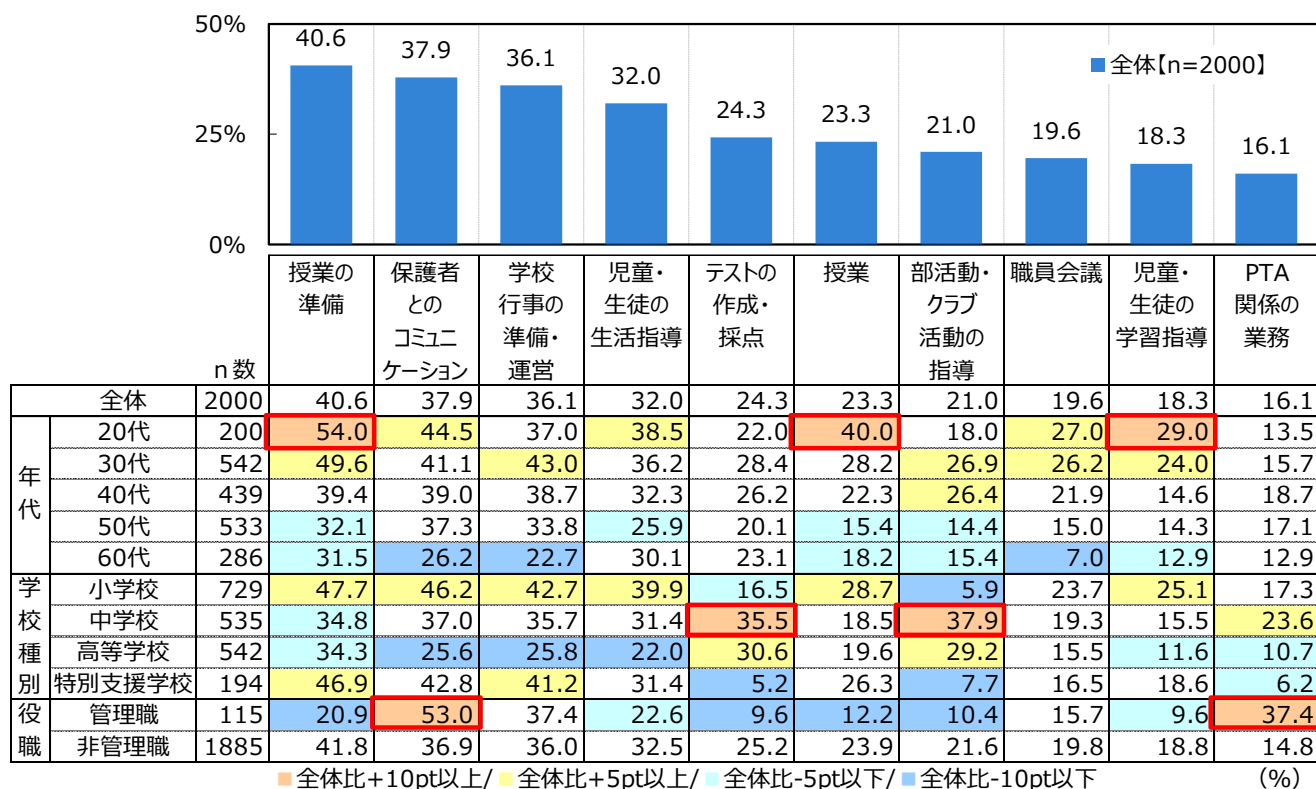
そのほか、「校務分掌」や「分掌業務」など、学校運営上の分担業務を挙げる回答も多くみられました。

年代別にみると、20代では「授業の準備」（54.0%）や「授業」（40.0%）、「児童・生徒の学習指導」（29.0%）が全体と比べて10ポイント以上高くなりました。若手の教員には、授業およびその準備や学習指導に苦慮している人が多いようです。

勤務先の学校種別でみると、中学校の教員では「テストの作成・採点」（35.5%）と「部活動・クラブ活動の指導」（37.9%）が全体と比べて10ポイント以上高くなり、「部活動・クラブ活動の指導」が最も高くなりました。

役職別にみると、管理職（教頭・副校長・校長）では「保護者とのコミュニケーション」（53.0%）と「PTA関係の業務」（37.4%）が全体と比べて10ポイント以上高くなりました。管理職として働く人には、保護者対応やPTA活動を負担に感じる人が多いのではないのでしょうか。

◆教員の仕事で苦勞していること（複数回答形式） ※上位10位までを表示



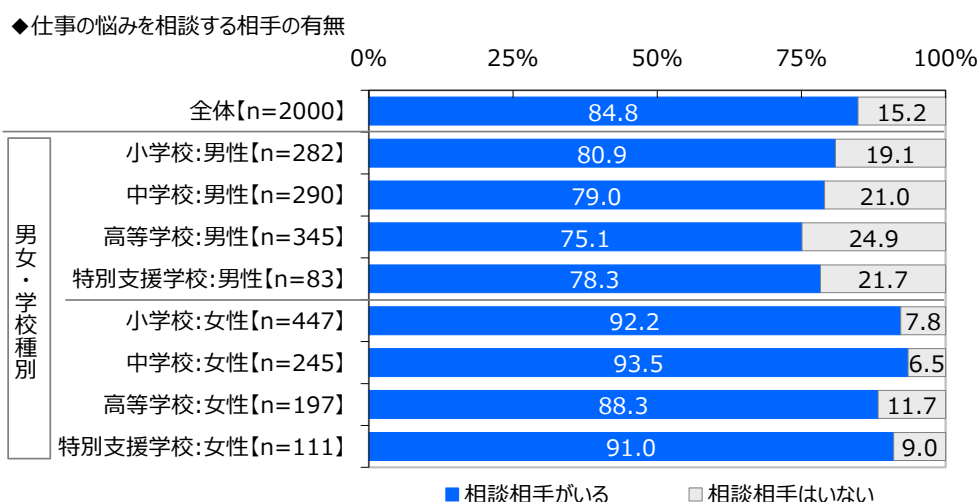
・仕事の悩みを相談する相手 TOP2 は「同世代の教員」「先輩の教員」

教員の 15%が「仕事の悩みを相談する相手がない」と回答

仕事の悩みの相談相手について質問しました。

全回答者（2,000 名）に、仕事の悩みを相談する相手がいるかどうか聞いたところ、「相談相手がいる」は 84.8%、「相談相手はいない」は 15.2%となりました。仕事で抱えた悩みを誰かに相談することなく、悩みを抱えたままになっている人は少なくないようです。

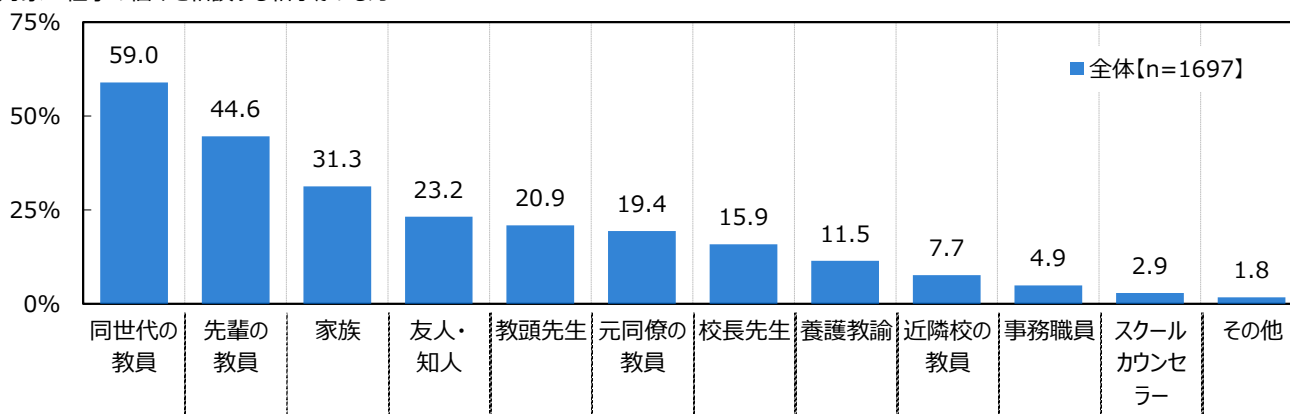
男女別・勤務先の学校種別でみると、「相談相手はいない」と回答した人の割合は、高等学校の男性教員（24.9%）が最も高くなり、特別支援学校の男性教員（21.7%）、中学校の男性教員（21.0%）が続きました。



仕事の悩みを相談する相手がいる方（1,697 名）に、仕事の悩みを相談している相手を聞いたところ、「同世代の教員」（59.0%）が最も高くなり、「先輩の教員」（44.6%）が続きました。同様の悩みを抱えていることが多い同世代の教員や、過去に同様の苦労や問題を経験しているかもしれない先輩の教員に相談し、問題解決の糸口を見いだしたいと考える人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「家族」（31.3%）、「友人・知人」（23.2%）、「教頭先生」（20.9%）、「元同僚の教員」（19.4%）、「校長先生」（15.9%）、「養護教諭」（11.5%）、「近隣校の教員」（7.7%）、「事務職員」（4.9%）、「スクールカウンセラー」（2.9%）、「その他」（1.8%）でした。

◆仕事の悩みを相談している相手（複数回答形式）

対象：仕事の悩みを相談する相手がいる方



◆学校・教育とLGBTQについて

・勤め先におけるLGBTQ研修やLGBTQ教育の状況

「教員に対するLGBTQ研修の機会が充実している」25%、

「児童・生徒に対するLGBTQ教育の機会が充実している」21%

・勤め先におけるLGBTQへの配慮の状況

「LGBTQに配慮した制度やルールが策定されている」28%、「LGBTQに配慮した設備が整っている」17%、

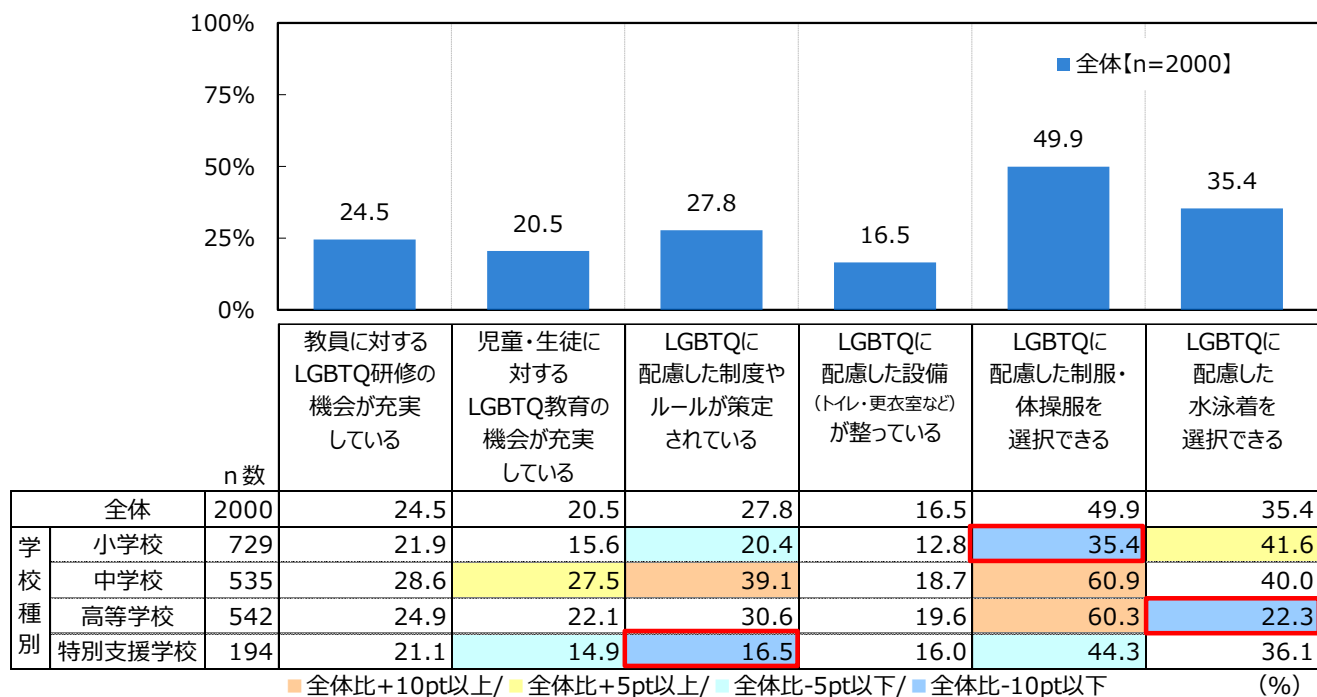
「LGBTQに配慮した制服・体操服を選択できる」50%、「LGBTQに配慮した水泳着を選択できる」35%

全回答者（2,000名）に、勤め先におけるLGBTQ研修やLGBTQ教育、LGBTQへの配慮の状況について聞いたところ、【教員に対するLGBTQ研修の機会が充実している】では「あてはまる」は24.5%、【児童・生徒に対するLGBTQ教育の機会が充実している】では20.5%となりました。LGBTQ研修やLGBTQ教育はLGBTQについての正しい知識を習得し、LGBTQ当事者に対する適切な対応を身につけるために欠かせないものであるものの、研修や教育の機会が十分に設けられていない学校が多いようです。

【LGBTQに配慮した制度やルールが策定されている】では「あてはまる」は27.8%、【LGBTQに配慮した設備（トイレ・更衣室など）が整っている】では16.5%、【LGBTQに配慮した制服・体操服を選択できる】では49.9%、【LGBTQに配慮した水泳着を選択できる】では35.4%となりました。衣服の選択肢の拡充と比べ、多額の費用がかかる施設面の整備については対応を進めるのが難しいケースが多いのではないのでしょうか。

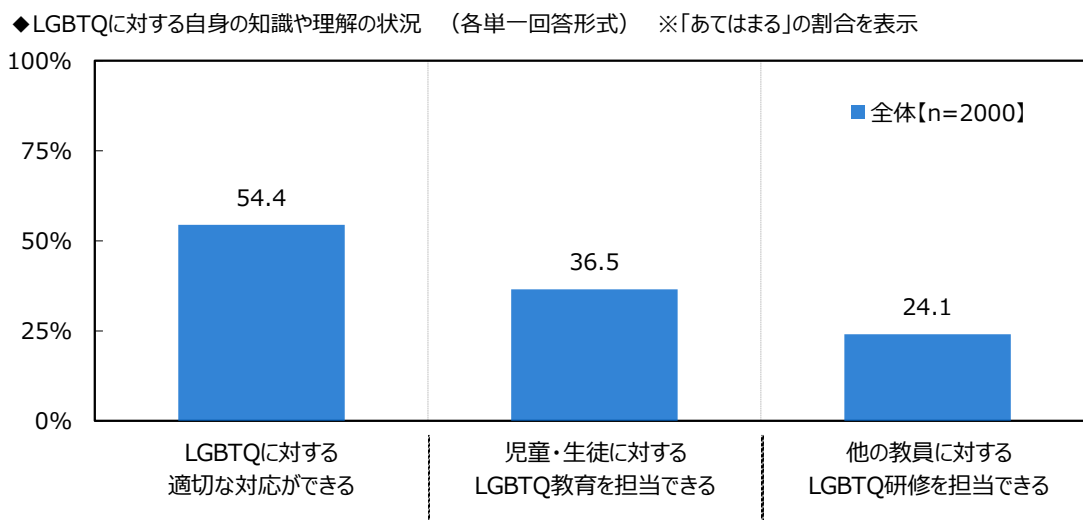
勤務先の学校種別でみると、小学校では【LGBTQに配慮した制服・体操服を選択できる】（35.4%）、高等学校では【LGBTQに配慮した水泳着を選択できる】（22.3%）、特別支援学校では【LGBTQに配慮した制度やルールが策定されている】（16.5%）が全体と比べて10ポイント以上低くなりました。

◆自身の勤め先におけるLGBTQ研修やLGBTQ教育、LGBTQへの配慮の状況（各単一回答形式） ※「あてはまる」の割合を表示

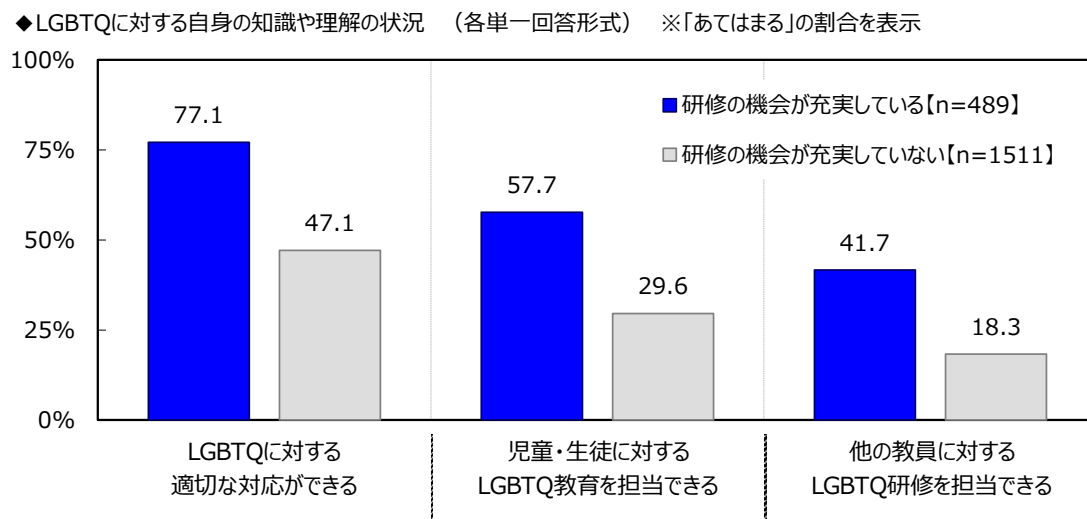


**・LGBTQ に対する知識や理解の状況 「LGBTQ に対する適切な対応ができる」54%、
「児童・生徒に対する LGBTQ 教育を担当できる」37%、「他の教員に対する LGBTQ 研修を担当できる」24%**

LGBTQ に対する自身の知識や理解の状況について聞いたところ、【LGBTQ に対する適切な対応ができる】では「あてはまる」は 54.4%となりました。LGBTQ について、正しい理解のもとに、適切な対応をとることができると考えている人が約半数となりました。他方、【児童・生徒に対する LGBTQ 教育を担当できる】では「あてはまる」は 36.5%、【他の教員に対する LGBTQ 研修を担当できる】では 24.1%と、半数未満にとどまりました。知識を習得したり理解を深めたりすることにより、自身で対応できるようにはなっている一方で、他人に対し教えることができる状態にはまだ達していないという人が大半のようです。



「勤め先での教員に対する LGBTQ 研修の機会」に関する設問で、「研修の機会が充実している」と回答した人では、【LGBTQ に対する適切な対応ができる】に「あてはまる」は 77.1%、【児童・生徒に対する LGBTQ 教育を担当できる】に「あてはまる」は 57.7%、【他の教員に対する LGBTQ 研修を担当できる】に「あてはまる」は 41.7%と、「研修の機会が充実していない」と回答した人（順に 47.1%、29.6%、18.3%）と比べて 20 ポイント以上高くなりました。個人レベルでの意識改革や積極的な情報収集にとどまらず、研修の機会の充実など教育制度の設計や整備も重要なのではないのでしょうか。



◆子どもに薦めたい本について

・児童・生徒に最も薦めたい本

1位「ハリー・ポッターシリーズ」2位「君たちはどう生きるか」3位「モモ」「星の王子さま」5位「かがみの孤城」
40代では「星の王子さま」、50代では「竜馬がゆく」が1位

子どもに薦めたい本について質問しました。

全回答者（2,000名）に、児童・生徒に最も薦めたい本（マンガ除く）のタイトルを聞いたところ、1位「ハリー・ポッターシリーズ」（29名）、2位「君たちはどう生きるか」（27名）、3位「モモ」「星の王子さま」（いずれも19名）、5位「かがみの孤城」（15名）と、国内に限らず海外の作家の本も上位にみられました。

TOP3となった回答について、薦めたいと思う理由をみると、1位の「ハリー・ポッターシリーズ」では「長いストーリーを読み切る達成感がある」、2位の「君たちはどう生きるか」では「考えることの大切さに気づくことができる」、3位の「モモ」では「生きていくうえでのバランス感覚を養ってほしい」、「星の王子さま」では「大切なものが何かを見つめるきっかけにしてほしい」といった回答がありました。

年代別にみると、20代では「かがみの孤城」「ハリー・ポッターシリーズ」「君たちはどう生きるか」（いずれも4名）、30代では「ハリー・ポッターシリーズ」（15名）、40代では「星の王子さま」（7名）、50代では「竜馬がゆく」（9名）、60代では「こころ」「君たちはどう生きるか」（いずれも4名）が1位でした。

◆児童・生徒に最も薦めたい本（マンガ除く）のタイトル・薦めたいと思う理由（自由回答形式）

※全体の結果は上位10位、年代別の結果は上位3位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）
1位	ハリー・ポッターシリーズ	29	長いストーリーを読み切る達成感がある
2位	君たちはどう生きるか	27	考えることの大切さに気づくことができる
3位	モモ	19	生きていくうえでのバランス感覚を養ってほしい
	星の王子さま	19	大切なものが何かを見つめるきっかけにしてほしい
5位	かがみの孤城	15	希望をもって生きることの大切さを知ることができる
6位	こころ	14	ありのままに生きることの大切さがわかる
7位	100万回生きたねこ	11	相手を大切にできる人になってほしい
	教室はまちがうところだ	11	間違いを恐れずに挑戦してほしい
	嫌われる勇氣	11	生きる指針になる
	竜馬がゆく	11	自分の将来を考えるきっかけとなる

20代【n=200】			30代【n=542】		
	名		名		名
1位	かがみの孤城	4	1位	ハリー・ポッターシリーズ	15
	ハリー・ポッターシリーズ	4		モモ	7
	君たちはどう生きるか	4	2位	君たちはどう生きるか	7
				星の王子さま	7

40代【n=439】			50代【n=533】			60代【n=286】		
	名		名		名		名	
1位	星の王子さま	7	1位	竜馬がゆく	9	1位	こころ	4
2位	100万回生きたねこ	5	2位	君たちはどう生きるか	8		君たちはどう生きるか	4
3位	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂	4	3位	ハリー・ポッターシリーズ	7	100万回生きたねこ	3	
	ぼくらの七日間戦争	4				アンネの日記	3	
	君たちはどう生きるか	4				ロウソクの科学	3	
	夢をかなえるゾウ	4						

・児童・生徒に最も薦めたいマンガ

**1位「SLAM DUNK」2位「ONE PIECE」3位「ドラえもん」「はだしのゲン」5位「鬼滅の刃」
20代では「ONE PIECE」、60代では「はだしのゲン」が1位**

児童・生徒に最も薦めたいマンガのタイトルを聞いたところ、1位「SLAM DUNK」（189名）、2位「ONE PIECE」（109名）、3位「ドラえもん」「はだしのゲン」（いずれも54名）、5位「鬼滅の刃」（47名）となりました。

TOP3となった回答について、薦めたいと思う理由をみると、1位の「SLAM DUNK」では「諦めず努力することの大切さを伝えたい」、2位の「ONE PIECE」では「心の支えになるような名言がたくさん出てくる」、3位の「ドラえもん」では「失敗や友情など様々なことを学べる」、「はだしのゲン」では「平和の大切さを知ってほしい」といった回答がありました。

年代別にみると、20代では「ONE PIECE」（19名）、30代・40代・50代では「SLAM DUNK」（順に81名、66名、28名）、60代では「はだしのゲン」（18名）が1位でした。

◆児童・生徒に最も薦めたいマンガのタイトル・薦めたいと思う理由（自由回答形式）

※全体の結果は上位10位、年代別の結果は上位3位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）
1位	SLAM DUNK	189	諦めず努力することの大切さを伝えたい
2位	ONE PIECE	109	心の支えになるような名言がたくさん出てくる
3位	ドラえもん	54	失敗や友情など様々なことを学べる
	はだしのゲン	54	平和の大切さを知ってほしい
5位	鬼滅の刃	47	諦めない強さを学んでほしい
6位	名探偵コナン	28	正義の心と優しさを知ることができる
7位	ブラック・ジャック	22	人間の優さと優しさが描かれている
8位	宇宙兄弟	21	夢を持つこと大切さを学ぶことができる
9位	日本の歴史	20	歴史を楽しく学ぶことができる
10位	ハイキュー!!	18	常に前向きに取り組むこと大切さが描かれている

20代【n=200】		名	30代【n=542】		名
1位	ONE PIECE	19	1位	SLAM DUNK	81
2位	名探偵コナン	8	2位	ONE PIECE	42
3位	SLAM DUNK	7	3位	鬼滅の刃	15

40代【n=439】		名	50代【n=533】		名	60代【n=286】		名
1位	SLAM DUNK	66	1位	SLAM DUNK	28	1位	はだしのゲン	18
2位	ONE PIECE	28	2位	ドラえもん	21	2位	ドラえもん	10
3位	ドラえもん	14	3位	はだしのゲン	17	3位	ONE PIECE	9
							火の鳥	9

◆教育現場への対話型 AI の導入について

・対話型 AI を教育現場に導入することで生まれるメリット

- 「対人関係が苦手な生徒の抵抗感を減らすことができる」「生徒の興味関心を伸ばすことができる」
- 「子どもがわからないことを自分で調べられる」「いつでも相談できる」「時間短縮になる」「業務の効率化が図れる」
- 「問題解決のヒントを得ることができる」「保護者向け書類などの文書作成に役立ちそう」など

・対話型 AI を教育現場に導入することで生まれるデメリット

- 「自分で考えなくなる」「考える力が育たない」「頼りきりになる」「思考力や創造性、主体性が養われない」
- 「不正行為を助長する可能性がある」「情報を鵜呑みにしてしまいがちになる」「コミュニケーション能力の低下」
- 「人間関係が希薄になる」「新たな研修が必要となり、ますます多忙化する」「丸写しを見抜く苦勞が増える」など

教育現場への対話型AIの導入について質問しました。対話型AIとは、ChatGPTに代表されるような、AI技術を活用したチャットサービスで、人間のように対話を自然に行うことができます。

全回答者（2,000名）に、ChatGPTなどの対話型AIを教育現場に導入することで、どのようなメリット・デメリットが生まれると思うか聞いたところ、【メリット】では、「文章を書くのが苦手な人でもスムーズに作文できる」や「文章のサンプルを提示してもらえる」、「調べ学習がはかどる、要約の勉強になる」、「知識を増やす手助けになる」、「対人関係が苦手な生徒の抵抗感を減らすことができる」、「生徒の興味関心を伸ばすことができる」、「子どもがわからないことを自分で調べられる」、「簡単に調べ学習やレポート作成ができる」など、子どもたちの学習の手助けになる点をメリットに感じている人が多いことがわかりました。対話型AIを教育現場に導入することにより、子どもの勉強の手助けになるだけでなく、コミュニケーションを苦手と感じている子どものサポートになると考えている人もいます。

また、「いつでも相談できる」や「時間短縮になる」、「わからないことをすぐ教えてくれる」、「業務の効率化が図れる」、「問題点や課題の洗い出しが容易にできる」、「問題解決のヒントを得ることができる」、「保護者向け書類などの文書作成に役立ちそう」、「汎用性のある事柄に関しては時間短縮になる」、「授業の準備時間を減らすことができる」など、業務効率化が図れる点をメリットに感じている回答も多く挙げられました。

◆ChatGPTなどの対話型AIを教育現場に導入することで、どのようなメリットが生まれると思うか（自由回答形式）

※回答を抜粋して表示

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| ・文章を書くのが苦手な人でもスムーズに作文できる | ・新しい知識を取り入れるのに役立つ |
| ・文章のサンプルを提示してもらえる | ・問題を解決するスピードが上がる |
| ・答え方のアイデアがもらえる | ・気軽に疑問を解決できる |
| ・調べ学習がはかどる、要約の勉強になる | ・いつでも相談できる |
| ・知識を増やす手助けになる | ・時間短縮になる |
| ・対人関係が苦手な生徒の抵抗感を減らすことができる | ・わからないことをすぐ教えてくれる |
| ・即時性があり、効率のよい学習が可能になる | ・業務の効率化が図れる |
| ・生徒の興味関心を伸ばすことができる | ・問題点や課題の洗い出しが容易にできる |
| ・生徒たちのアイデアの参考になると思う | ・問題解決のヒントを得ることができる |
| ・子どもがわからないことを自分で調べられる | ・保護者向け書類などの文書作成に役立ちそう |
| ・使い方を間違えなければ、学習の1つのツールとして利用できる | ・汎用性のある事柄に関しては時間短縮になる |
| ・簡単に調べ学習やレポート作成ができる | ・授業の準備時間を減らすことができる |

他方、【デメリット】では、「自分で考えなくなる」や「思考力の低下」、「考える力が育たない」、「頼りきりになる」、「何でも任せてしまい自分で何もできなくなる」、「得られた回答を自分の考えとして提出する生徒が出てくると思う」、「頼りすぎて知識や語彙が身につかなくなってしまう」、「思考力や創造性、主体性が養われない」、「様々な資料をもとにして自分の考えを述べる力がつか心配」、「文章を要約する力や自分で文章を構成する力が衰える」、「不正行為を助長する可能性がある」、「情報を鵜呑みにしてしまいがちになる」、「使い方を間違えると学力の低下につながる」など、能力や素養が適切に養われず、教育上悪影響が生じることを懸念する回答が多く挙げられました。

また、「コミュニケーション能力の低下」や「ノンバーバルコミュニケーションの大切さを忘れてしまいそう」、「対人コミュニケーションが減る」、「人間関係が希薄になる」といった人とのコミュニケーションに関する回答、「新たな研修が必要となり、ますます多忙化する」や「教員による継続的な状況把握が必要になる」、「丸写しを見抜く苦労が増える」といった教員の負担に関する回答もありました。

◆ChatGPTなどの対話型AIを教育現場に導入することで、どのようなデメリットが生まれると思うか（自由回答形式）

※回答を抜粋して表示

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・自分で考えなくなる・思考力の低下・考える力が育たない・頼りきりになる・何でも任せてしまい自分で何もできなくなる・得られた回答を自分の考えとして提出する生徒が出てくると思う・情報を鵜呑みにしてしまいがちになる・使い方を間違えると学力の低下につながる・頼りすぎて知識や語彙が身につかなくなってしまう・様々な資料をもとにして自分の考えを述べる力がつか心配・文章を要約する力や自分で文章を構成する力が衰える・不正行為を助長する可能性がある | <ul style="list-style-type: none">・思考力や創造性、主体性が養われない・意図しない方向に勝手に導かれる可能性がある・AIの答えを信用してしまう危険性がある・コミュニケーション能力の低下・ノンバーバルコミュニケーションの大切さを忘れてしまいそう・対人コミュニケーションが減る・人間関係が希薄になる・正確でない情報を信じてしまうことがある・自分が理解しなくても文書ができてしまう怖さがある・新たな研修が必要となり、ますます多忙化する・教員による継続的な状況把握が必要になる・丸写しを見抜く苦労が増える |
|---|--|

◆“教員あるある”について

・“教員あるある”ランキング TOP2 は「夏休みがあつていいねと言われる」「児童・生徒の珍回答に笑ってしまう」、
 「字を見ただけでどの児童・生徒かわかる」「大切なプリントを配り忘れて焦る」「スーツでもスニーカーを履く」
 「授業を忘れていて児童・生徒が職員室に呼びに来る」「学園ドラマにツッコミを入れる」も上位にランクイン

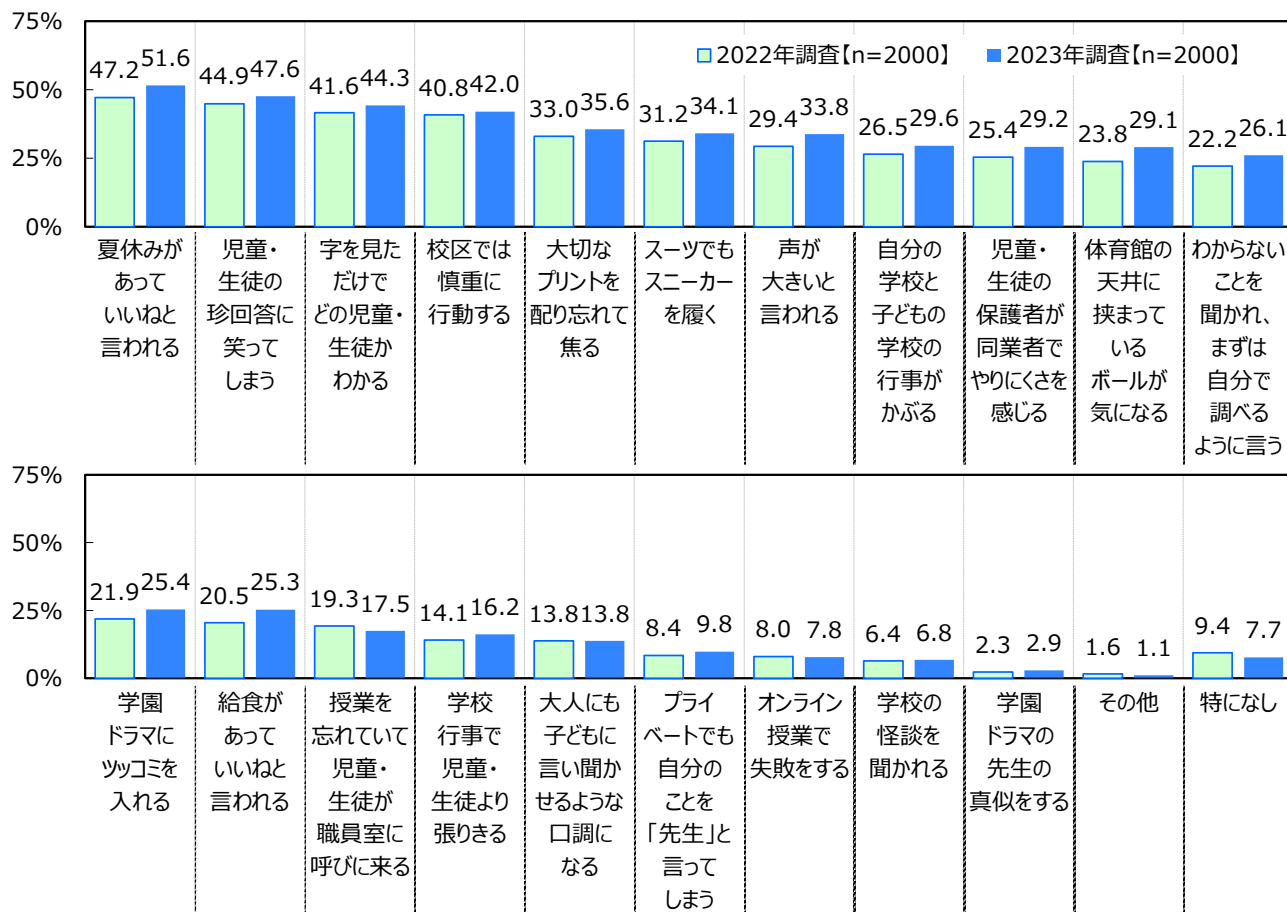
“教員あるある”について質問しました。

全回答者（2,000名）に、教師をしていて経験したことがあるもの・行ったことがあるものを聞いたところ、「夏休みがあつていいねと言われる」（51.6%）が最も高くなりました。子どもの夏休みが長期間にわたることから、学校の先生も同じように長期間の休暇をとっているとイメージしている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「児童・生徒の珍回答に笑ってしまう」（47.6%）、「字を見ただけでどの児童・生徒かわかる」（44.3%）、「校区では慎重に行動する」（42.0%）、「大切なプリントを配り忘れて焦る」（35.6%）、「スーツでもスニーカーを履く」（34.1%）、「声大きいと言われる」（33.8%）でした。

そのほか、「わからないことを聞かれ、まずは自分で調べるように言う」（26.1%）や「大人にも子どもに言い聞かせるような口調になる」（13.8%）、「プライベートでも自分のことを『先生』と言ってしまう」（9.8%）といった学校と同じような振る舞いをする、
 「授業を忘れていて児童・生徒が職員室に呼びに来る」（17.5%）や「オンライン授業で失敗をする」（7.8%）といった“うっかり”や失敗に関する、
 「学園ドラマにツッコミを入れる」（25.4%）や「学園ドラマの先生の真似をする」（2.9%）といった学園ドラマにちなんだ“あるある”も少なくないことがわかりました。

前回の調査結果と比較すると、上位に順位の変動はありませんでした。「夏休みがあつていいねと言われる」や「児童・生徒の珍回答に笑ってしまう」などをはじめ、教員であれば一度は経験することには、普遍性があるようです。

◆教師をしていて経験したことがあるもの・行ったことがあるもの（複数回答形式）



◆教科に対する意識・実感について

・子どもの頃に好きだった教科・学習内容 好きだった理由と学習内容は？

国語「漢字を覚えるのが好きだった（漢字）」、算数・数学「解き方を考えるのが楽しかった（図形）」、理科「現象の原理、原則がわかり面白い（化学）」、社会「ニュースがわかるようになる（公民）」、英語「いろいろな人とコミュニケーションがとれる（英会話）」、体育「ボールを蹴るのが楽しかった（サッカー）」、図工・美術「様々な画材で描くことが好き（絵画）」、音楽「みんなと一緒に歌うのが楽しかった（合唱）」、家庭科「おいしいものが食べられる（調理）」など

教科に対する意識・実感について質問しました。

全回答者（2,000名）に、子どもの頃に好きだった教科を聞いたところ、1位「算数・数学」（442名）、2位「体育」（375名）、3位「社会」（245名）、4位「国語」（208名）、5位「理科」（156名）となりました。

◆子どもの頃に好きだった教科（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=2000】	名
1位	算数・数学	442
2位	体育	375
3位	社会	245
4位	国語	208
5位	理科	156
6位	音楽	141
7位	英語	131
8位	図工・美術	96
9位	家庭科	24
10位	道徳	6

	男性【n=1000】	名		女性【n=1000】	名
1位	算数・数学	251	1位	算数・数学	191
2位	体育	201	2位	体育	174
3位	社会	166	3位	国語	156
4位	理科	108	4位	音楽	120
5位	国語	52	5位	英語	87
6位	英語	44	6位	社会	79
7位	図工・美術	25	7位	図工・美術	71
8位	音楽	21	8位	理科	48
9位	道徳	3	9位	家庭科	22
10位	家庭科 / 技術	2	10位	道徳	3

好きだった理由と学習内容をみると、国語では「漢字を覚えるのが好きだった（漢字）」や「やればやるだけ世界が広がる（現代文）」、「現代ではない世界を知れる（古典）」、算数・数学では「仕組みが面白いと思った（分数）」や「解き方を考えるのが楽しかった（図形）」、「解けたときに満足感がある（方程式）」、理科では「現象の原理、原則がわかり面白い（化学）」や「生き物の生態を調べるのが好き（生物）」、「実験が楽しかった（電気）」、社会では「ニュースがわかるようになる（公民）」や「日本が近代化する過程が面白い（明治時代）」、「武将が好き（戦国時代）」、英語では「きちんと整理して頭に入ると気持ちいい（文法）」や「いろいろな人とコミュニケーションがとれる（英会話）」、「オチを読み取るのが楽しかった（読解）」といった回答がありました。

また、体育では「ボールを蹴るのが楽しかった（サッカー）」や「ドリブルやシュート、試合が楽しい（バスケットボール）」、図工・美術では「様々な画材で描くことが好き（絵画）」や「思ったものを自由に作れる（粘土）」、音楽では「みんなと一緒に歌うのが楽しかった（合唱）」や「答えに正解がなく、自分らしく表現できる（鑑賞）」、家庭科では「おいしいものが食べられる（調理）」や「ミシンや手縫いが得意だった（裁縫）」といった回答がありました。

◆子どもの頃に好きだった教科・理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

国語【n=208】

好きだった理由（学習内容）
漢字を覚えるのが好きだった（漢字）
やればやるだけ世界が広がる（現代文）
現代ではない世界を知れる（古典）
人間を知ることができる（小説）
想像力がかきたえられる（物語文）

算数・数学【n=442】

好きだった理由（学習内容）
九九を早く覚えた（掛け算）
仕組みが面白いと思った（分数）
解き方を考えるのが楽しかった（図形）
解けたときに満足感がある（方程式）
パズルみたいで面白い（因数分解）

理科【n=156】

好きだった理由（学習内容）
現象の原理、原則がわかり面白い（化学）
生き物の生態を調べるのが好き（生物）
自分の住む世界の仕組みがわかる気がした（物理）
実験が楽しかった（電気）
夜、観察をするのが楽しかった（星の動き）

社会【n=245】

好きだった理由（学習内容）
地名がいろいろ出てくる（日本地理）
ニュースがわかるようになる（公民）
日本が近代化する過程が面白い（明治時代）
武将が好き（戦国時代）

英語【n=131】

好きだった理由（学習内容）
きちんと整理して頭に入ると気持ちいい（文法）
いろいろな人とコミュニケーションがとれる（英会話）
オチを読み取るのが楽しかった（読解）
英語の音を心地よく感じる（音読）
懂れていた（リスニング）

体育【n=375】

好きだった理由（学習内容）
ボールを蹴るのが楽しかった（サッカー）
ドリブルやシュート、試合が楽しい（バスケットボール）
足が速かった（陸上競技）
普段出来ない、跳ぶ行為が気持ちいい（跳び箱）
気持ちがいいし、泳ぐのが得意だった（水泳）

図工・美術【n=96】

好きだった理由（学習内容）
様々な画材で描くことが好き（絵画）
どんどん発想が浮かぶ（工作）
思ったものを自由に作れる（粘土）

音楽【n=141】

好きだった理由（学習内容）
みんなと一緒に歌うのが楽しかった（合唱）
いろいろな曲が吹ける（リコーダー）
よく声が出ている、きれいに歌えていると言われた（歌唱）
違う楽器が合わさって音楽になるのが面白い（合奏）
答えに正解がなく、自分らしく表現できる（鑑賞）

家庭科【n=24】

好きだった理由（学習内容）
おいしいものが食べられる（調理）
ミシンや手縫いが得意だった（裁縫）
子どもについて学ぶのが楽しかった（保育）

・子どもの頃に嫌いだった教科・学習内容 嫌いだった理由と学習内容は？

国語「作者や登場人物の気持ちを理解できない（物語文）」、算数・数学「意味がわからなかった（微分・積分）」、理科「化学式が嫌いだった（化学）」、社会「外国の名前や地名など覚えられなかった（世界史）」、英語「何を言っているかわからない（リスニング）」、体育「水が怖く泳げなかった（水泳）」、
図工・美術「絵を描くのが苦手だった（絵画）」、音楽「声を出すのが恥ずかしかった（歌唱）」など

他方、子どもの頃に嫌いだった教科を聞いたところ、“子どもの頃に好きだった教科”と同様に「算数・数学」（328名）が1位でした。図形などパズル的な要素の強い分野の勉強は楽しんでいた一方で、関数など抽象的な概念について学ぶところでは苦戦したり躓いていたりした人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「体育」（319名）、3位「国語」（234名）、4位「図工・美術」（213名）、5位「社会」（199名）となりました。

◆子どもの頃に嫌いだった教科（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=2000】	名
1位	算数・数学	328
2位	体育	319
3位	国語	234
4位	図工・美術	213
5位	社会	199
6位	理科	151
7位	英語	125
	音楽	125
9位	家庭科	19
10位	道徳	17

	男性【n=1000】	名		女性【n=1000】	名
1位	国語	148	1位	算数・数学	216
2位	図工・美術	115	2位	体育	207
3位	算数・数学	112	3位	社会	147
	体育	112	4位	図工・美術	98
5位	音楽	101	5位	国語	86
6位	英語	80	6位	理科	85
7位	理科	66	7位	英語	45
8位	社会	52	8位	音楽	24
9位	家庭科	15	9位	道徳	9
10位	道徳	8	10位	家庭科	4

嫌いだっ理由と学習内容をみると、国語では「作者や登場人物の気持ちを理解できない（物語文）」や「訳がわからない（古文）」、「正解がわからない（作文）」、算数・数学では「意味がわからなかった（微分・積分）」や「抽象的になってきてわからなくなってきた（数列）」、「これが出てから算数・数学嫌いが始まった（割合）」、理科では「エネルギーや速さなど目に見えないものが理解しづらい（物理）」や「解剖が可哀想だった（生物）」、「化学式が嫌いだっ（化学）」、社会では「外国の名前や地名など覚えられなかった（世界史）」や「年表を覚えることが苦手（日本史）」、「覚えることがたくさんあった（地理）」、英語では「何を言っているかわからない（リスニング）」や「単語や決まった言い回しを覚えることができない（英作文）」、「日本語と違って難しく感じる（文法）」といった回答がありました。

また、体育では「頭から落下してトラウマになった（跳び箱）」や「水が怖く泳げなかった（水泳）」、図工・美術では「絵を描くのが苦手だった（絵画）」や「絵の具を使いこなせなかった（水彩画）」、音楽では「指がうまく動かなかった（リコーダー）」や「声を出すのが恥ずかしかった（歌唱）」といった回答がありました。

“理解できない”や“わからない”、“苦手”など、教える立場にある教員も人の子とを感じるようなコメントが寄せられました。

◆子どもの頃に嫌いだっ教科・理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

国語【n=234】

嫌いだっ理由（学習内容）
作者や登場人物の気持ちを理解できない（物語文）
訳がわからない（古文）
字を丁寧に書くのが面倒くさい（漢字）
正解がわからない（作文）
わかりにくい（漢文）

算数・数学【n=328】

嫌いだっ理由（学習内容）
証明問題のやり方がわからなかった（図形）
意味がわからなかった（微分・積分）
抽象的になってきてわからなくなってきた（数列）
この単元から混乱し始めた（確率）
これが出てから算数・数学嫌いが始まった（割合）

理科【n=151】

嫌いだっ理由（学習内容）
エネルギーや速さなど目に見えないものが理解しづらい（物理）
オームの法則、フレミングの左手の法則がわからなかった（電気）
解剖が可哀想だった（生物）
自転と公転の理解が難しかった（星座）
化学式が嫌いだっ（化学）

社会【n=199】

嫌いだっ理由（学習内容）
外国の名前や地名など覚えられなかった（世界史）
年表を覚えることが苦手（日本史）
覚えることがたくさんあった（地理）
聞いていても興味がわからず訳がわからなかった（公民）

英語【n=125】

嫌いだっ理由（学習内容）
何を言っているかわからない（リスニング）
単語や決まった言い回しを覚えることができない（英作文）
日本語と違って難しく感じる（文法）

体育【n=319】

嫌いだっ理由（学習内容）
体の使い方がよくわからなかった（マット運動）
しんどい。やる意味がわからない（マラソン）
頭から落下してトラウマになった（跳び箱）
水が怖く泳げなかった（水泳）
うまくできなくて、まめができるほど練習した（鉄棒）

図工・美術【n=213】

嫌いだっ理由（学習内容）
絵を描くのが苦手だった（絵画）
創造性がなさすぎて苦痛（工作）
絵の具を使いこなせなかった（水彩画）
彫刻刀で手指に怪我をしがち（版画）

音楽【n=125】

嫌いだっ理由（学習内容）
指がうまく動かなかった（リコーダー）
声を出すのが恥ずかしかった（歌唱）
上手に演奏出来なかった（器楽）

・子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科

役立つシーン・役立つことがわかった場面は？ 国語「大人になり書けないと恥ずかしいと気づいた（漢字）」、算数・数学「買い物のとき、割引などの計算に役立つ（百分率）」、理科「洗濯や掃除のときに役立つ（化学）」、社会「現在の世界情勢を知るのに役に立つ（世界史）」、英語「実務で必要（リスニング）」、体育「体力づくりや健康の維持のために必要（水泳）」、道徳「生活すべてで人として正しく行動できる（道徳）」、家庭科「一人暮らしで役立つ（洗濯）」など

次に、子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科を聞いたところ、1位は「算数・数学」（366名）で、“子どもの頃に好きだった教科”“子どもの頃に嫌いだった教科”とあわせ三冠となりました。好き嫌いがあったとしても、いざ大人になってみると、算数・数学で学んだことが実生活で役立つことを実感するようになった人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「社会」（335名）、3位「国語」（182名）、4位「家庭科」（173名）、5位「理科」（152名）となりました。

◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科（自由回答形式）

※上位10位までを表示

	全体【n=2000】	名
1位	算数・数学	366
2位	社会	335
3位	国語	182
4位	家庭科	173
5位	理科	152
6位	英語	144
7位	体育	28
8位	道徳	26
9位	技術	19
10位	音楽	16

男性【n=1000】			女性【n=1000】		
	名			名	
1位	算数・数学	191	1位	社会	184
2位	社会	151	2位	算数・数学	175
3位	国語	103	3位	家庭科	120
4位	理科	61	4位	理科	91
5位	英語	60	5位	英語	84
6位	家庭科	53	6位	国語	79
7位	音楽	13	7位	体育	19
8位	技術	11	8位	道徳	18
9位	保健	10	9位	技術	8
10位	図工・美術 / 体育	9	10位	図工・美術 / 保健	5

役立つシーン・役立つことがわかった場面と学習内容をみると、国語では「大人になり書けないと恥ずかしいと気づいた（漢字）」や「あらゆる場面で文章力は必要（作文）」、「文章を書くときなど、正しい日本語が使える（文法）」、算数・数学では「品物を買うとき、どちらが得か調べる（単位量あたりの大きさ）」や「買い物するとき、割引などの計算に役立つ（百分率）」、「料理や手芸で非常に役立つ（割合）」、理科では「天気図や台風など、生活と直接関わりのあることが多い（天気）」や「洗濯や掃除のときに役立つ（化学）」、「モーターを使った製品が理解できる（電磁石）」、社会では「現在の世界情勢を知るのに役に立つ（世界史）」や「政治についてニュースを見て理解できる（公民）」、「社会情勢や、選挙の仕組みなどが理解しやすい（現代社会）」、英語では「海外に行ったとき、英語が使えると便利だった（英会話）」や「旅行や仕事など様々な場面でコミュニケーションがとれる（スピーキング）」、「実務で必要（リスニング）」といった回答がありました。

また、体育では「体力づくりや健康の維持のために必要（水泳）」、道徳では「生活すべてで人として正しく行動できる（道徳）」、家庭科では「一人暮らしで役立つ（洗濯）」といった回答がありました。

◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

国語【n=182】

役立つシーン・役立つことがわかった場面（学習内容）

大人になり書けないと恥ずかしいと気づいた（漢字）
職場外の方や保護者との対応（敬語）
相手の気持ちを深く考えることができる（現代文・古文）
あらゆる場面で文章力は必要（作文）
文章を書くときなど、正しい日本語が使える（文法）

算数・数学【n=366】

役立つシーン・役立つことがわかった場面（学習内容）

テストの配点を考えているとき（連立方程式）
品物を買うとき、どちらが得か調べる（単位量あたりの大きさ）
運動場に直角を書くときに役立つ（直角三角形）
買い物するとき、割引などの計算に役立つ（百分率）
料理や手芸で非常に役立つ（割合）

理科【n=152】

役立つシーン・役立つことがわかった場面（学習内容）

天気図や台風など、生活と直接関わりのあることが多い（天気）
洗濯や掃除のときに役立つ（化学）
授業で野菜を作るとき（植物）
モーターを使った製品が理解できる（電磁石）

社会【n=335】

役立つシーン・役立つことがわかった場面（学習内容）

戦国・江戸時代のテレビドラマの背景がわかる（日本史）
現在の世界情勢を知るのに役に立つ（世界史）
ニュースや旅行などで知っているとても得する（地理）
政治についてニュースを見て理解できる（公民）
社会情勢や、選挙の仕組みなどが理解しやすい（現代社会）

英語【n=144】

役立つシーン・役立つことがわかった場面（学習内容）

海外に行ったとき、英語が使えると便利だった（英会話）
旅行や仕事など様々な場面でコミュニケーションがとれる（スピーキング）
実務で必要（リスニング）

体育【n=28】

役立つシーン・役立つことがわかった場面（学習内容）

体力づくりや健康の維持のために必要（水泳）
自分の体のメンテナンス（ストレッチ）

道徳【n=26】

役立つシーン・役立つことがわかった場面（学習内容）

生活すべてで人として正しく行動できる（道徳）
差別などの知識があるのとならないのでは、自分の行動が変わる（道徳）

家庭科【n=173】

役立つシーン・役立つことがわかった場面（学習内容）

幼稚園や小学校の子どものためにいろいろ作るとき（被服）
日々の料理に役立っている（調理）
一人暮らしで役立つ（洗濯）

・これからもっと勉強したいと思う教科 もっと勉強したいと思う理由と学習内容は？

国語「相手に伝わる文章の書き方をマスターしたい（作文）」、算数・数学「現代の社会で必要（統計）」、理科「社会的に関心が高まっている（自然環境）」、社会「世界情勢の理解に繋がる（世界史）」、英語・外国語「国際社会に対応するため（リーディング）」、体育「体育好きの子どもたちを育てられる（ボール運動）」、情報「これからどんどん必要になる（プログラミング）」、音楽「自己表現にもつながると思う（歌）」、家庭科「お金の流れについてもっと詳しく知りたい（家庭基礎）」など

では、これから学びを深めるとしたら、どの教科の勉強に取り組みたいと考える人が多いのでしょうか。

これからもっと勉強したいと思う教科を聞いたところ、「英語・外国語」（605名）がダントツで多く挙げられました。英語をはじめとした外国語を学ぶことの重要性を感じている人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「社会」（325名）、3位「国語」（144名）、4位「算数・数学」（136名）、5位「理科」（122名）となりました。

◆これからもっと勉強したいと思う教科（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=2000】	名
1位	英語・外国語	605
2位	社会	325
3位	国語	144
4位	算数・数学	136
5位	理科	122
6位	情報	58
7位	体育	34
8位	家庭科	31
9位	音楽	29
10位	図工・美術	28

	男性【n=1000】	名
1位	英語・外国語	244
2位	社会	163
3位	算数・数学	79
4位	理科	77
5位	国語	53
6位	情報	36
7位	体育	16
8位	家庭科	10
9位	図工・美術	8
10位	音楽	7

	女性【n=1000】	名
1位	英語・外国語	361
2位	社会	162
3位	国語	91
4位	算数・数学	57
5位	理科	45
6位	音楽	22
	情報	22
8位	家庭科	21
9位	図工・美術	20
10位	体育	18
	道徳	18

もっと勉強したいと思う理由と学習内容をみると、国語では「読み取る力がすべての教科につながる（説明文）」や「物語文の楽しさを子どもたちと共有したい（物語文）」、「相手に伝わる文章の書き方をマスターしたい（作文）」、算数・数学では「投資に役立ちそう（確率）」や「算数が苦手な子どもを減らしたい（数と計算）」、「現代の社会で必要（統計）」、理科では「身近な現象と関係がある（物理）」や「ロマンがある（宇宙）」、「社会的に関心が高まっている（自然環境）」、社会では「世の中のことが理解できる（政治）」や「最近の新しい見解など、面白く感じられる（日本史）」、「世界情勢の理解に繋がる（世界史）」、英語・外国語では「外国に行ったときに役立つ（スピーキング）」や「聴いてすぐ理解したい（リスニング）」、「国際社会に対応するため（リーディング）」といった回答がありました。

また、体育では「体育好きの子どもたちを育てられる（ボール運動）」、情報では「これからどんどん必要になる（プログラミング）」、音楽では「自己表現にもつながると思う（歌）」、家庭科では「お金の流れについてもっと詳しく知りたい（家庭基礎）」といった回答がありました。

◆これらももっと勉強したいと思う教科・理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

国語【n=144】

もっと勉強したいと思う理由（学習内容）

読み取る力がすべての教科につながる（説明文）
物語文の楽しさを子どもたちと共有したい（物語文）
日本の文化について詳しく知りたい（古典）
筆順などが大事（漢字）
相手に伝わる文章の書き方をマスターしたい（作文）

算数・数学【n=136】

もっと勉強したいと思う理由（学習内容）

投資に役立ちそう（確率）
教え方が難しい（割合）
算数が苦手な子どもを減らしたい（数と計算）
現代の社会で必要（統計）
パズルみたいで面白い（因数分解）

理科【n=122】

もっと勉強したいと思う理由（学習内容）

身近な現象と関係がある（物理）
異常気象が多い（天気）
ロマンがある（宇宙）
子どものほうが詳しいことが多い（生物）
社会的に関心が高まっている（自然環境）

社会【n=325】

もっと勉強したいと思う理由（学習内容）

世の中のことが理解できる（政治）
投資について知りたい（経済）
最近の新しい見解など、面白く感じられる（日本史）
旅行に行った先の地域の特徴を知りたい（地理）
世界情勢の理解に繋がる（世界史）

英語・外国語【n=605】

もっと勉強したいと思う理由（学習内容）

外国に行ったときに役立つ（スピーキング）
ALTと話す機会が広がる（英会話）
知っていて損はない（文法）
聴いてすぐ理解したい（リスニング）
国際社会に対応するため（リーディング）

体育【n=34】

もっと勉強したいと思う理由（学習内容）

体育好きの子どもたちを育てられる（ボール運動）
教えられる機会が少ない（水泳）
必要だから（ダンス）

情報【n=58】

もっと勉強したいと思う理由（学習内容）

これからどんどん必要になる（プログラミング）
自分が高校生の頃にはなかった（パソコンの使い方）
これから必要（データサイエンス）

音楽【n=29】

もっと勉強したいと思う理由（学習内容）

音楽会で伴奏してみたい（ピアノ）
自己表現にもつながると思う（歌）
指導法を学びたい（リコーダー）

家庭科【n=31】

もっと勉強したいと思う理由（学習内容）

実生活に役立つ（調理）
知らないことが多い（金融）
お金の流れについてもっと詳しく知りたい（家庭基礎）

◆職業観について

・子どもの頃に就きたかった職業「**教員**」が**1位**

男性**2位**は「プロスポーツ選手」、女性**2位**は「保育士・幼稚園教諭」

・今、転職するなら就きたい職業 男性**1位**は「大学教授・研究者」、女性**1位**は「公務員」

・生まれ変わったら就きたい職業「**教員**」が**2年連続1位**

職業観について質問しました。

全回答者（2,000名）に、子どもの頃に就きたかった職業を聞いたところ、1位「教員」（39.3%）、2位「プロスポーツ選手」（13.1%）、3位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（12.7%）、4位「保育士・幼稚園教諭」（11.2%）、5位「医師」（8.6%）となりました。

男女別にみると、男女とも1位は「教員」（男性36.0%、女性42.5%）となり、男性では2位「プロスポーツ選手」（22.9%）、3位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（12.7%）、4位「パイロット」（10.5%）、5位「医師」（10.1%）、女性では2位「保育士・幼稚園教諭」（21.0%）、3位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（12.7%）、4位「料理人・パティシエ」（11.5%）、5位「歌手・ミュージシャン」（8.8%）でした。

◆子どもの頃に就きたかった職業（複数回答形式） ※上位10位までを表示

2022年調査：全体[n=2000]			2023年調査：全体[n=2000]		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	48.1	1位	教員	39.3
2位	プロスポーツ選手	11.4	2位	プロスポーツ選手	13.1
3位	保育士・幼稚園教諭	10.5	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.7
4位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	7.4	4位	保育士・幼稚園教諭	11.2
5位	医師	7.2	5位	医師	8.6
6位	大学教授・研究者	5.4	6位	料理人・パティシエ	7.5
7位	歌手・ミュージシャン	5.1	7位	歌手・ミュージシャン	6.7
8位	料理人・パティシエ	5.0	8位	警察官・消防官・自衛官	6.1
9位	パイロット	4.7	9位	パイロット	5.8
10位	警察官・消防官・自衛官	4.3	10位	芸術家	5.7

2022年調査：男性[n=1000]			2023年調査：男性[n=1000]		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	44.4	1位	教員	36.0
2位	プロスポーツ選手	19.9	2位	プロスポーツ選手	22.9
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.0	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.7
4位	大学教授・研究者	8.5	4位	パイロット	10.5
5位	パイロット	8.4	5位	医師	10.1
6位	医師	7.6	6位	警察官・消防官・自衛官	8.6
7位	警察官・消防官・自衛官	6.1	7位	大学教授・研究者	8.1
8位	建築家・大工	4.8	8位	建築家・大工	6.3
9位	弁護士	3.8	9位	歌手・ミュージシャン	4.5
10位	歌手・ミュージシャン	3.5	10位	弁護士	4.1

2022年調査：女性[n=1000]			2023年調査：女性[n=1000]		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	51.7	1位	教員	42.5
2位	保育士・幼稚園教諭	19.9	2位	保育士・幼稚園教諭	21.0
3位	料理人・パティシエ	7.9	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.7
4位	キャビンアテンダント	7.5	4位	料理人・パティシエ	11.5
5位	看護師	7.1	5位	歌手・ミュージシャン	8.8
6位	歌手・ミュージシャン	6.8	6位	キャビンアテンダント	8.5
7位	医師	6.7	7位	看護師	8.5
8位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	5.8	8位	芸術家	7.6
9位	小説家	4.6	9位	医師	7.0
10位	芸術家 / 薬剤師	4.1	10位	薬剤師	6.4

今、転職するなら就きたい職業を聞いたところ、1位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（12.0%）、2位「大学教授・研究者」（9.6%）、3位「教員」（9.0%）となりました。

男女別にみると、男性では1位「大学教授・研究者」（13.7%）、2位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（9.8%）、3位「教員」（9.0%）となりました。男性では、転職するなら教育の現場で身につけた知見を研究機関で深めたいと考える人が多いようです。他方、女性では1位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（14.3%）、2位「教員」（9.1%）、3位「会社員」（8.8%）となりました。

前回の調査結果と比較すると、「教員」は1位（2022年16.5%）から3位（2023年9.0%）に順位を下げたのに対し、「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」は2位（2022年12.0%）から1位（2023年12.0%）、「大学教授・研究者」は3位（2022年10.0%）から2位（2023年9.6%）にそれぞれ順位を上げる結果となりました。

◆今、転職するなら就きたい職業（複数回答形式） ※上位10位までを表示

2022年調査：全体【n=2000】			2023年調査：全体【n=2000】		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	16.5	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.0
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.0	2位	大学教授・研究者	9.6
3位	大学教授・研究者	10.0	3位	教員	9.0
4位	料理人・パティシエ	5.6	4位	料理人・パティシエ	6.9
5位	会社員	4.6	5位	会社員	6.1
6位	医師	4.5	6位	医師	4.9
7位	保育士・幼稚園教諭	4.2	7位	薬剤師	4.7
	建築家・大工	4.2	8位	建築家・大工	4.5
9位	薬剤師	3.8	9位	芸術家	3.9
10位	芸術家	3.2	10位	小説家	3.8

2022年調査：男性【n=1000】			2023年調査：男性【n=1000】		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	16.6	1位	大学教授・研究者	13.7
2位	大学教授・研究者	14.2	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.8
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.3	3位	教員	9.0
4位	料理人・パティシエ	5.8	4位	料理人・パティシエ	5.9
5位	建築家・大工	5.5	5位	パイロット	5.6
6位	医師	4.7	6位	医師	5.5
7位	パイロット	4.1	7位	建築家・大工	5.2
	プロスポーツ選手	4.1	8位	政治家	4.6
9位	警察官・消防官・自衛官	3.5	9位	小説家	3.8
	政治家	3.5	10位	警察官・消防官・自衛官	3.7
				プロスポーツ選手	3.7

2022年調査：女性【n=1000】			2023年調査：女性【n=1000】		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	16.4	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	14.3
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	14.6	2位	教員	9.1
3位	保育士・幼稚園教諭	6.6	3位	会社員	8.8
4位	会社員	6.0	4位	料理人・パティシエ	7.9
5位	大学教授・研究者	5.8	5位	薬剤師	6.4
6位	料理人・パティシエ	5.4	6位	大学教授・研究者	5.5
	薬剤師	5.4	7位	保育士・幼稚園教諭	5.1
8位	医師	4.3	8位	キャビンアテンダント	4.9
9位	看護師	4.0	9位	芸術家	4.7
10位	芸術家	3.1	10位	医師	4.3

生まれ変わったら就きたい職業を聞いたところ、1位「教員」（13.2%）、2位「医師」（11.7%）、3位「プロスポーツ選手」（9.7%）、4位「歌手・ミュージシャン」（9.3%）、5位「大学教授・研究者」（8.3%）となりました。

男女別にみると、男性では1位は「教員」（14.7%）、2位「プロスポーツ選手」（14.6%）、3位「医師」（11.5%）、4位「大学教授・研究者」（10.7%）、5位「パイロット」（9.7%）、女性では1位「医師」（11.8%）、2位「教員」（11.6%）、3位「薬剤師」（10.7%）、4位「歌手・ミュージシャン」（10.3%）、5位「料理人・パティシエ」（9.6%）でした。

前回の調査結果と比較すると、「教員」は2年連続で1位（2022年17.8%、2023年13.2%）となりました。人を育てる「教育」という仕事に誇りをもって取り組み、やりがいや喜びを感じている人が多いのではないのでしょうか。また、「医師」は2年連続で2位（2022年10.7%、2023年11.7%）となりました。

◆生まれ変わったら就きたい職業（複数回答形式） ※上位10位までを表示

2022年調査：全体[n=2000]			2023年調査：全体[n=2000]		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	17.8	1位	教員	13.2
2位	医師	10.7	2位	医師	11.7
3位	大学教授・研究者	8.3	3位	プロスポーツ選手	9.7
	プロスポーツ選手	8.3	4位	歌手・ミュージシャン	9.3
5位	公務員 <small>（教員・警察官・消防官・自衛官除く）</small>	6.9	5位	大学教授・研究者	8.3
6位	歌手・ミュージシャン	6.8	6位	料理人・パティシエ	7.2
7位	料理人・パティシエ	6.3	7位	薬剤師	7.0
8位	建築家・大工	6.2	8位	タレント・俳優	6.9
9位	芸術家	6.0		パイロット	6.9
10位	タレント・俳優	5.8	10位	公務員 <small>（教員・警察官・消防官・自衛官除く）</small>	6.1
				芸術家	6.1

2022年調査：男性[n=1000]			2023年調査：男性[n=1000]		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	20.4	1位	教員	14.7
2位	プロスポーツ選手	13.5	2位	プロスポーツ選手	14.6
3位	大学教授・研究者	12.0	3位	医師	11.5
4位	医師	10.7	4位	大学教授・研究者	10.7
5位	建築家・大工	7.0	5位	パイロット	9.7
6位	パイロット	6.8	6位	歌手・ミュージシャン	8.3
7位	公務員 <small>（教員・警察官・消防官・自衛官除く）</small>	6.5	7位	建築家・大工	6.7
8位	歌手・ミュージシャン	5.8	8位	タレント・俳優	6.0
9位	料理人・パティシエ	4.9		公務員 <small>（教員・警察官・消防官・自衛官除く）</small>	6.0
10位	タレント・俳優	4.7	10位	料理人・パティシエ	4.9

2022年調査：女性[n=1000]			2023年調査：女性[n=1000]		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	15.3	1位	医師	11.8
2位	医師	10.7	2位	教員	11.6
3位	キャビンアテンダント	9.2	3位	薬剤師	10.7
4位	歌手・ミュージシャン	7.7	4位	歌手・ミュージシャン	10.3
5位	料理人・パティシエ	7.6	5位	料理人・パティシエ	9.6
	芸術家	7.6	6位	キャビンアテンダント	9.4
7位	薬剤師	7.4	7位	タレント・俳優	7.8
8位	公務員 <small>（教員・警察官・消防官・自衛官除く）</small>	7.2	8位	芸術家	7.3
9位	タレント・俳優	6.8	9位	デザイナー	6.4
10位	デザイナー	6.2	10位	公務員 <small>（教員・警察官・消防官・自衛官除く）</small>	6.2

◆結婚観について

◆どのような職業の人と結婚した？ 男性 1 位は「教員」、女性 1 位は「会社員」

◆どのような職業の人と結婚したい？ 未婚男性 1 位は「教員」、未婚女性 1 位は「公務員」

結婚観について質問しました。

まず、既婚者（男性 844 名、女性 673 名）に、どのような職業の人と結婚したか聞いたところ、男性では 1 位「教員」（35.5%）、2 位「会社員」（25.9%）、3 位「保育士・幼稚園教諭」（9.0%）、4 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（6.5%）、5 位「看護師」（5.5%）となりました。勤め先で出会い、職場恋愛を経てゴールインした人が多いのではないのでしょうか。他方、女性では 1 位「会社員」（38.2%）、2 位「教員」（37.9%）、3 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（9.4%）、4 位「警察官・消防官・自衛官」（3.1%）、5 位「建築家・大工」（1.5%）となりました。

前回の調査結果と比較すると、男性では「教員」が 2 年連続 1 位（2022 年 38.2%、2023 年 35.5%）でした。

◆どのような職業の人と結婚したか（単一回答形式） ※上位10位までを表示

対象：既婚者

2022年調査：男性【n=849】			2023年調査：男性【n=844】		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	38.2	1位	教員	35.5
2位	会社員	25.6	2位	会社員	25.9
3位	保育士・幼稚園教諭	8.0	3位	保育士・幼稚園教諭	9.0
4位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	5.3	4位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	6.5
5位	看護師	4.9	5位	看護師	5.5
6位	芸術家	1.2	6位	芸術家	1.5
7位	料理人・パティシエ	1.1	7位	料理人・パティシエ	0.6
8位	薬剤師	0.8	8位	大学教授・研究者	0.4
9位	建築家・大工	0.6		薬剤師	0.4
10位	プロスポーツ選手	0.5	10位	建築家・大工	0.2
	キャビンアテンダント	0.5		小説家	0.2

2022年調査：女性【n=684】			2023年調査：女性【n=673】		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	38.9	1位	会社員	38.2
2位	会社員	35.7	2位	教員	37.9
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.4	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.4
4位	警察官・消防官・自衛官	2.0	4位	警察官・消防官・自衛官	3.1
5位	大学教授・研究者	1.5	5位	建築家・大工	1.5
6位	料理人・パティシエ	1.3	6位	料理人・パティシエ	0.9
7位	建築家・大工	1.2	7位	大学教授・研究者	0.9
8位	医師	0.7	8位	医師	0.6
9位	芸術家	0.6	9位	デザイナー	0.4
	デザイナー	0.6	10位	薬剤師	0.3

次に、未婚者（男性 156 名、女性 327 名）に、どのような職業の人と結婚したいと思うか聞いたところ、男性では 1 位「教員」（34.6%）、2 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（26.3%）、3 位「看護師」（21.8%）、4 位「保育士・幼稚園教諭」（20.5%）、5 位「薬剤師」「料理人・パティシエ」（いずれも 14.7%）、女性では 1 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（36.4%）、2 位「教員」（30.3%）、3 位「会社員」（26.6%）、4 位「警察官・消防官・自衛官」（18.3%）、5 位「医師」（17.7%）となりました。

◆どのような職業の人と結婚したいと思うか（複数回答形式） ※上位10位までを表示

対象：未婚者

2022年調査：男性【n=151】			2023年調査：男性【n=156】		
		%			%
1位	教員	31.1	1位	教員	34.6
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	23.8	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	26.3
3位	看護師	19.2	3位	看護師	21.8
4位	料理人・パティシエ	16.6	4位	保育士・幼稚園教諭	20.5
	保育士・幼稚園教諭	16.6	5位	薬剤師	14.7
6位	会社員	15.2		料理人・パティシエ	14.7
7位	薬剤師	11.9	7位	会社員	12.8
8位	タレント・俳優	11.3		医師	12.8
9位	キャビンアテンダント	9.9	9位	キャビンアテンダント	10.9
10位	医師	9.3	10位	タレント・俳優	10.3

2022年調査：女性【n=316】			2023年調査：女性【n=327】		
		%			%
1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	44.0	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	36.4
2位	教員	35.4	2位	教員	30.3
3位	会社員	32.9	3位	会社員	26.6
4位	警察官・消防官・自衛官	18.0	4位	警察官・消防官・自衛官	18.3
5位	医師	15.2	5位	医師	17.7
6位	大学教授・研究者	14.6	6位	建築家・大工	16.5
7位	建築家・大工	11.7	7位	薬剤師	16.2
8位	弁護士	10.8	8位	料理人・パティシエ	14.7
9位	薬剤師	10.4	9位	弁護士	13.5
10位	料理人・パティシエ	8.9	10位	大学教授・研究者	11.9
	パイロット	8.9			

◆理想の同僚・校長先生・教師のイメージに合う芸能人・先生キャラ

◆教員として同僚になってもらいたいと思う芸能人「大泉洋さん」が2年連続1位

男性回答 TOP5 は「大泉洋さん」「武田鉄矢さん」「松本人志さん」「水谷豊さん」「所ジョージさん」、

女性回答 TOP5 は「天海祐希さん」「大泉洋さん」「カズレーザーさん」「鈴木亮平さん」「ムロツヨシさん」

最後に、全回答者（2,000名）に、“理想の同僚”“理想の校長先生”“理想の教師”のイメージに合うと思う芸能人や先生キャラについて質問しました。

教員として同僚になってもらいたいと思う芸能人を聞いたところ、1位「大泉洋さん」（66名）、2位「天海祐希さん」（61名）、3位「武田鉄矢さん」（39名）、4位「福山雅治さん」（23名）、5位「松本人志さん」（21名）となりました。

男女別にみると、男性回答では1位「大泉洋さん」（35名）、2位「武田鉄矢さん」（32名）、3位「松本人志さん」（17名）、4位「水谷豊さん」（16名）、5位「所ジョージさん」（15名）、女性回答では1位「天海祐希さん」（55名）、2位「大泉洋さん」（31名）、3位「カズレーザーさん」「鈴木亮平さん」（いずれも16名）、5位「ムロツヨシさん」（14名）となりました。

前回の調査結果と比較すると、「大泉洋さん」が2年連続で1位（2022年60名、2023年66名）となりました。実際に教員免許を取得していることでも知られる大泉洋さんが同僚だったら職場が明るくなるとイメージする人が多いのではないのでしょうか。また、女性回答では「天海祐希さん」が2年連続1位（2022年45名、2023年55名）でした。

◆教員として同僚になってもらいたいと思う芸能人（自由回答形式） ※上位10位までを表示

2022年調査：全体【n=2000】			2023年調査：全体【n=2000】		
順位	芸能人	名	順位	芸能人	名
1位	大泉洋	60	1位	大泉洋	66
2位	天海祐希	53	2位	天海祐希	61
3位	武田鉄矢	46	3位	武田鉄矢	39
4位	綾瀬はるか	39	4位	福山雅治	23
5位	明石家さんま	31	5位	松本人志	21
6位	阿部寛	28	6位	所ジョージ	20
7位	木村拓哉	25		明石家さんま	20
	ムロツヨシ	22		水谷豊	18
8位	所ジョージ	22	8位	木村拓哉	18
	櫻井翔	22		鈴木亮平	18
2022年調査：男性【n=1000】			2023年調査：男性【n=1000】		
順位	芸能人	名	順位	芸能人	名
1位	武田鉄矢	33	1位	大泉洋	35
2位	大泉洋	28	2位	武田鉄矢	32
3位	綾瀬はるか	26	3位	松本人志	17
4位	水谷豊	20	4位	水谷豊	16
	明石家さんま	20	5位	所ジョージ	15
6位	阿部寛	16	6位	阿部寛	11
7位	新垣結衣	15		福山雅治	11
	木村拓哉	15		明石家さんま	11
9位	所ジョージ	14	9位	綾瀬はるか	9
10位	中村雅俊 / 福山雅治	9	10位	タモリ / 新垣結衣 / 木村拓哉	8
2022年調査：女性【n=1000】			2023年調査：女性【n=1000】		
順位	芸能人	名	順位	芸能人	名
1位	天海祐希	45	1位	天海祐希	55
2位	大泉洋	32	2位	大泉洋	31
3位	櫻井翔	19	3位	カズレーザー	16
4位	菅田将暉	17		鈴木亮平	16
5位	ムロツヨシ	16	5位	ムロツヨシ	14
6位	綾瀬はるか	13	6位	櫻井翔	13
	武田鉄矢	13	7位	水ト麻美	12
8位	阿部寛	12		福山雅治	12
9位	明石家さんま	11	9位	木村拓哉	10
10位	木村拓哉	10	10位	マツコ・デラックス / 仲間由紀恵 / 明石家さんま	9

・理想の校長先生のイメージに合う芸能人 1位「武田鉄矢さん」2位「天海祐希さん」3位「所ジョージさん」

理想の校長先生のイメージに合う芸能人を聞いたところ、1位は「武田鉄矢さん」（112名）となりました。ドラマ『3年B組金八先生』でみせた中学校教員・坂本金八役の好演が印象に残っている人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「天海祐希さん」（93名）、3位「所ジョージさん」（73名）、4位「明石家さんまさん」（63名）、5位「タモリさん」（45名）となりました。

前回の調査結果と比較すると、TOP4には2022年（1位「武田鉄矢さん」、2位「所ジョージさん」、3位「明石家さんまさん」、4位「天海祐希さん」と同じ顔触れが並ぶ結果となりました。

◆理想の校長先生のイメージに合う芸能人（自由回答形式） ※上位10位までを表示

2022年調査：全体[n=2000]			2023年調査：全体[n=2000]		
順位	芸能人	名	順位	芸能人	名
1位	武田鉄矢	147	1位	武田鉄矢	112
2位	所ジョージ	75	2位	天海祐希	93
3位	明石家さんま	67	3位	所ジョージ	73
4位	天海祐希	59	4位	明石家さんま	63
5位	西田敏行	38	5位	タモリ	45
6位	タモリ	36	6位	阿部寛	37
7位	阿部寛	31		大泉洋	37
8位	内村光良	30	8位	役所広司	30
9位	水谷豊	26	9位	ビートたけし	28
10位	松本人志	24		松本人志	28

**・理想の教師像に合う映画・ドラマの先生キャラ「坂本金八」が2年連続1位、
2位「山口久美子」3位「鬼塚英吉」4位「桜木建二」5位「北野広大」**

理想の教師像に合う映画・ドラマの先生キャラを聞いたところ、「坂本金八（3年B組金八先生）」（310名）がダントツとなり、2位「山口久美子（ごくせん）」（124名）、3位「鬼塚英吉（GTO）」（88名）、4位「桜木建二（ドラゴン桜）」（61名）、5位「北野広大（熱中時代）」（55名）と続きました。

男女別にみると、男女とも1位は「坂本金八（3年B組金八先生）」（男性181名、女性129名）となり、男性では2位「鬼塚英吉（GTO）」「北野広大（熱中時代）」（いずれも43名）、4位「桜木建二（ドラゴン桜）」（25名）、5位「山口久美子（ごくせん）」（16名）、女性では2位「山口久美子（ごくせん）」（108名）、3位「鬼塚英吉（GTO）」（45名）、4位「桜木建二（ドラゴン桜）」（36名）、5位「阿久津真矢（女王の教室）」（32名）と続きました。

前回の調査結果と比較すると、「坂本金八（3年B組金八先生）」が2年連続で1位（2022年315名、2023年310名）となりました。金八先生のように、どんな生徒に対しても真剣に向き合い、生徒のことを第一に考え行動するような先生を理想と考えている人が多いようです。また、「山口久美子（ごくせん）」は4位（2022年89名）から2位（2023年124名）に順位を上げました。

◆理想の教師像に合う映画・ドラマの先生キャラ（自由回答形式） ※上位10位までを表示

2022年調査：全体【n=2000】			2023年調査：全体【n=2000】		
順位	先生キャラ	名	順位	先生キャラ	名
1位	坂本金八（3年B組金八先生）	315	1位	坂本金八（3年B組金八先生）	310
2位	鬼塚英吉（GTO）	123	2位	山口久美子（ごくせん）	124
3位	北野広大（熱中時代）	91	3位	鬼塚英吉（GTO）	88
4位	山口久美子（ごくせん）	89	4位	桜木建二（ドラゴン桜）	61
5位	桜木建二（ドラゴン桜）	76	5位	北野広大（熱中時代）	55
6位	阿久津真矢（女王の教室）	34	6位	阿久津真矢（女王の教室）	38
7位	徳川龍之介（教師びんびん物語）	26	7位	川藤幸一（ROOKIES）	23
8位	桐沢祥吾（未来への10カウント）	21	8位	徳川龍之介（教師びんびん物語）	14
9位	川藤幸一（ROOKIES）	19		南波次郎（伝説の教師）	14
10位	鈴木章（鈴木先生）	18	10位	柊一颯（3年A組-今から昔さんは、人質です-）	12

2022年調査：男性【n=1000】			2023年調査：男性【n=1000】		
順位	先生キャラ	名	順位	先生キャラ	名
1位	坂本金八（3年B組金八先生）	179	1位	坂本金八（3年B組金八先生）	181
2位	北野広大（熱中時代）	69	2位	鬼塚英吉（GTO）	43
3位	鬼塚英吉（GTO）	67		北野広大（熱中時代）	43
4位	桜木建二（ドラゴン桜）	37	4位	桜木建二（ドラゴン桜）	25
5位	徳川龍之介（教師びんびん物語）	21	5位	山口久美子（ごくせん）	16
6位	山口久美子（ごくせん）	12	6位	川藤幸一（ROOKIES）	14
7位	南波次郎（伝説の教師）	11	7位	南波次郎（伝説の教師）	10
8位	桐沢祥吾（未来への10カウント）	10	8位	徳川龍之介（教師びんびん物語）	9
9位	川藤幸一（ROOKIES）	8	9位	阿久津真矢（女王の教室）	6
10位	阿久津真矢（女王の教室）	7		滝沢賢治（スクール☆ウォーズ）	5
	滝沢賢治（スクール☆ウォーズ）	7	10位	風間公親（教場）	5
				平泉玩助（みにくいアヒルの子）	5

2022年調査：女性【n=1000】			2023年調査：女性【n=1000】		
順位	先生キャラ	名	順位	先生キャラ	名
1位	坂本金八（3年B組金八先生）	136	1位	坂本金八（3年B組金八先生）	129
2位	山口久美子（ごくせん）	77	2位	山口久美子（ごくせん）	108
3位	鬼塚英吉（GTO）	56	3位	鬼塚英吉（GTO）	45
4位	桜木建二（ドラゴン桜）	39	4位	桜木建二（ドラゴン桜）	36
5位	阿久津真矢（女王の教室）	27	5位	阿久津真矢（女王の教室）	32
6位	北野広大（熱中時代）	22	6位	北野広大（熱中時代）	12
7位	柊一颯（3年A組-今から昔さんは、人質です-）	13	7位	川藤幸一（ROOKIES）	9
8位	鈴木章（鈴木先生）	12	8位	柊一颯（3年A組-今から昔さんは、人質です-）	8
	桐沢祥吾（未来への10カウント）	11		鳴海涼介（先に生まれただけの僕）	8
9位	川藤幸一（ROOKIES）	11	10位	戸川秀之（ちびまる子ちゃん）	6

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 教員の意識に関する調査 2023
- ◆調査対象 : ネットエイジアサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）
- ◆調査期間 : 2023年5月30日～6月5日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 2,000名（有効回答から、男女が均等になるように抽出）
（内訳）

男性	女性	計
1,000	1,000	2,000

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■ ■ 会社概要 ■ ■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司（そえだ たけし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563